

私立獣医科大学における臨床教育および 動物病院の相互評価報告書

平成 21 年 8 月

私立獣医科大学協会

はじめに

私立5獣医学大学はそれぞれ歴史的背景を基盤とした建学の精神と教育理念を掲げ、毎年約700名の高度専門職業人としての獣医師を養成し、実務者として社会へ送り出している。わが国の獣医学教育を取り巻く環境が変化する中で、社会的ニーズに対応した獣医学教育を実現するためには、教育内容の改善が必要であるとの指摘や、欧米諸国に比べ教育・研究体制が小規模であり、臨床分野の教育が十分でないかとの指摘等、国際的通用性を備えた質の高い教育への取り組みが求められている。

私立獣医学大学協会は獣医学教育の国際水準達成を目指し、教育の改善と充実を図る目的で、毎年2回開催される協議会および年1回の総会を通じて、その改善策について継続的に協議を重ねてきている。平成12年に「相互評価委員会」を設置し、平成14年には「私立獣医学大学における獣医学教育の相互評価報告書」として公表した。平成16年には「私立獣医学大学大学院における獣医学教育・研究の相互評価報告書」を、平成17年には「私立獣医学大学における獣医学教育充実に関する短期改善目標の達成度調査報告書」が出された。さらに、各大学の獣医学教育の充実に向けた改善の取り組みを検証し、継続的に評価する必要があることから、平成19年に「私立獣医学大学における獣医学教育の相互評価報告書」として公表されてきている。

本協会では、引き続き獣医学体制の整備・充実を図り、社会のニーズに応えられる取り組みを推進する上で、特に臨床教育の充実、若手教員の育成、動物病院の活動等を検証することとし、第5次相互評価委員会が設置された。一連の作業工程を進める過程で、調査項目の設定やアンケート調査に時間を要したが、相互評価に際しては、各大学の委員各位の協力の下、ここに「私立獣医学大学における臨床教育および動物病院の相互評価報告書」として取り纏めることができた。

私立獣医学大学間では、約2年間隔で相互評価を行っており、今回は動

物病院と臨床教育の在り方について検証を行い、獣医学教育を求める学生によりよい教育・研究環境を提供して、社会の要請に応える獣医師を育っていくためにも、相互評価を行う意義は大きいものと考える。今後も引き続き評価結果を踏まえて、改善・充実を図っていかなければならない。加えて、獣医学教育分野の教育の質を保証し、国際通用性を確保するためには、分野別の第三者評価システムによる適切な評価の実施が必要とされる。

最後に、第5次相互評価委員会委員の先生方および調査に協力を頂いた各獣医科大学の教職員各位に感謝申し上げるとともに、本報告書が各大学の獣医学教育の改善・充実のために役立つことを願って止まない。

平成21年8月
私立獣医科大学協会
第5次相互評価委員会
委員長 清水一政

目 次

I 経緯と調査の方法

1. 私立獣医科大学の臨床教育・動物病院の相互評価に関する趣旨	1
2. 調査方法	1
3. 調査項目	2
4. 委員会構成	2

II 各調査項目における相互評価

1. 臨床教育および動物病院の理念・目的・目標	3
2. 教育研究組織	15
3. 教育課程・教育方法	25
4. 学生	41
5. 教職員	50
6. 管理運営	63
7. 財務	69
8. 研究教育環境	74
9. 社会連携	78
10. 社会的責務	82
11. 全体評価	85

III 大学別自己点検・評価の別紙資料

1. 酪農学園大学	95
2. 北里大学	100
3. 日本獣医生命科学大学	105
4. 麻布大学	111
5. 日本大学	116

IV 大学別自己点検・評価の補助資料

1. 臨床系教育科目・単位数.....	121
2. 臨床系担当教員の構成率.....	122
3. 大学教員の活動時間区分.....	123
4. 診察要員.....	125
5. 動物病院の支援人員.....	126
6. 動物病院の総面積と診察収入.....	126
7. 現在の病院運営経費.....	127

I 経緯と調査の方法

1. 私立獣医科大学の臨床教育・動物病院の相互評価に関する趣旨

平成9年には（財）大学基準協会より、獣医学教育の国際化、高度化への対応の必要性から「獣医学教育に関する基準」を定め、獣医学教育の改善と充実を図るために、自己点検・自己評価体制の整備、付属施設として獣医臨床センターや先端的動物研究センターの整備等の目標が設定された。また、平成12年には全国大学獣医学関係代表者協議会に、獣医学教育の横断的評価委員会が設置され、「自己点検統一フォーマット」による調査票が各大学に送付され、獣医学教育の横断的評価調査報告が取りまとめられた。

一方、私立獣医科大学協会に加盟する5大学は、獣医学教育の国際水準達成を目指し、教育の改善と充実を図ることを目的に、平成12年に相互評価委員会を設置し、各大学間の相互評価が行われ、平成14年に「私立獣医科大学における獣医学教育の相互評価報告書（平成6年度～平成12年度）」として冊子が発行された。その後、平成16年には「私立獣医科大学大学院における獣医学教育・研究の相互評価報告書」が、平成17年に「私立獣医科大学における獣医学教育充実に関する短期改善目標の達成度調査報告書（平成14年・15年度）」、さらに平成19年には「私立獣医科大学における獣医学教育の相互評価報告書（平成13年度～平成17年度）」がそれぞれ取り纏められた。

私立獣医科大学協会は、高度専門職業人養成課程としての点検・評価を怠らず、加盟5校の自助努力によって獣医学教育体制の整備・充実を図り、引き続きこれを推進する過程で、特に臨床教育の要である動物病院をはじめ学生数に応じた施設・設備や臨床系教員の確保などに着手し、社会のニーズに応えられる取り組みが各大学でなされている。本協会では平成19年9月に行われた獣医学教育の充実に向けての協議で、臨床教育の充実、若手教員の育成、動物病院の活動等の評価を行う第5次相互評価委員会を設置することが承認された。これを受け5大学から各1名選出された委員で構成する委員会を中心に、平成20年度における私立獣医科大学の臨床教育・動物病院の相互評価のための調査を行うこととし、相互評価報告書の完成に向けて作業を開始した。

2. 調査方法

各大学が私学としての個性、特色、特性を十分に發揮できるよう配慮し、各大学の向上・改善のために自律性を尊重した評価が出来る基準として、日本高等教育評価機構独自の大学評価基準および方法・手順に従った調査項目を採用し、調査が行われた。同時に、相互評価を行う上での参考資料として、臨床系の講座・

教室名、教育科目・単位数・教員数、担当教員の構成率、教員の活動時間区分、および動物病院の組織図、診療科名と教員数、診療要員、支援人員、総面積、運営経費、高額機器の設置状況等の調査を合わせてお願いした。

3. 調査項目

- 1) 獣医学科における臨床教育および動物病院の理念・目的・目標
- 2) 教育研究組織
- 3) 教育課程・教育方法
- 4) 学生
- 5) 教職員
- 6) 管理運営
- 7) 財務
- 8) 教育研究環境
- 9) 社会連携
- 10) 社会的責務

4. 委員会構成

委員長 清水 一政 (日本獣医生命科学大学)
委員 及川 伸 (酪農学園大学)
高井 伸二 (北里大学)
有嶋 和義 (麻布大学)
佐藤 常男 (日本大学)

II 各調査項目における相互評価

I. 獣医学科における臨床教育および動物病院の理念・目的・目標など

臨床教育および動物病院の理念・目的・目標について、10項目に及ぶ質問に対して答える方式で、5大学の実状とその評価を解析した。

5大学とも、臨床教育を進めるにあたり、近年高まる動物医療への社会的 requirement を加味した理念・目的・目標が設定されており、また、ホームページやパンフレットなど多くの手段を用い、その周知を図っている。

動物病院の理念・目的・目標も明確に設定され、広報活動もおおむね実施されている。しかしながら、人的および物的資源の不足が目標達成にあたり大きな障害となっている。

I-1. 臨床教育の理念・目的・目標

5大学において、臨床教育の理念・目的・目標は、獣医師としての専門性を踏まえた知識および技術の習得だけではなく、倫理面での教育も踏まえた内容になっているものが多く(表 I-1-①、I-1-②)、シラバスやガイダンスを通して、教員・学生への周知を図っている(表 I-1-④、⑤)。

また、臨床教育を進めるにあたり、クリニカルローテーションシステム(酪農大 平成20年度より)、教育カリキュラムの見直し(北里大・日獣大 平成16年度より)を実施するなど、近年急激に求められる獣医療の高度化にも対応すべく、大学病院を活用した方針が取られている(表 I-1-②、③)。

I-2. 動物病院の理念・目的・目標

5大学において、動物病院の目的・目標は、明確に設定されており(表 I-2-①)、各大学とも伴侶動物・産業動物、各方面からの期待・要請を加味した内容になっている(表 I-2-②)。北里大では、これを受け、以前に設定した目的・目標の改訂の必要があると考えている。

5大学とも動物病院の方針は設定されており(表 I-2-③)、動物病院の機能向上を図っている。北里大では、具体的な方法などの詳細な設定はされていない(表 I-2-③)としているが、他大学がどこまで具体的に設定されているかは不明である。

動物病院の理念・目的・目標は、学内にはシラバスやガイダンスで、学外にはホームページやパンフレットなどを通じて公表されている(表 I-2-④)。酪農大、北里大、日獣大では、臨床活動に興味がない学生を含め、教員以外への広報不足が言及されている。

麻布大では平成 20 年にあらたに広報活動に対する予算計上を行い、プロモーション DVD 作成、動物病院の待合室で毎日放送するなど、動物病院を来院した飼い主をも対象にした積極的な広報活動が実施されている。

I -3. 臨床教育および動物病院の理念・目的・目標に対する評価

臨床教育および動物病院の理念・目的・目標に対する評価は、「おおむね適切である」と「適切でない部分が多い」に二分した（表 I -3）ものの、各大学とも臨床教育と社会的 requirement に応えるための柔軟性の 2 面をどう維持していくのかが大きな問題のようだ。酪農大、日獣大では、人的および物的資源の確保を含めた目標設定の必要性を説いている。また、麻布大では、より具体的な目標設定および改革の必要性があるとしている。

I—1. 臨床教育の理念・目的・目標

表 I-1-① 理念をふまえた、臨床教育目的・目標が設定されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	<p>本学の建学の精神である「三愛精神」、「健土建民」および「実学」の思想に基づき、獣医学とその関連科学ならびに研究活動を通して、生命、自然を尊ぶ豊かな人間性を育み、人類の福祉および動物・人・環境の調和と共に貢献することを理念としている。この理念を実現するため、以下の目標を掲げている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 獣医学とその関連科学を創造的に発展させ、その成果を教育・研究ならびに普及活動に反映させるとともに、国際的視野に立って、動物と人間の健康保持、食料の安定供給および環境保全に寄与する。 2. 臨床とその基盤からなる諸科学の教育を通して、創造的且つ実践的獣医師となりうる人材を育成する。 3. 幅広く深い教養と専門知識・技術および総合的な判断力を涵養し、健全で人間性豊かな生命観と社会的使命感を持った人材を育成する。
北里大	有	<p>獣医学科における獣医学教育では、全人教育と獣医師としての基本知識と技能の習得、さらには、問題解決能力の高い高度専門職業人として高い資質と技術並びに倫理を有する人材の養成を図ることが獣医学科の使命である。その中で、臨床教育及び動物病院においても、この目標に沿った伴侶動物や産業動物の獣医療に貢献できる実践的人材を養成し、動物の健康、人類の健康と福祉の増進に寄与することである。</p>
日獣大	有	<p>本学の獣医学科における教育理念は、愛と科学の心を有する質の高い獣医師を育てることで、専門職である獣医師として診療技術に関する能力の高いことのみならず、倫理的にも高い資質を有する獣医療人を育てることにある。また、犬、猫などの伴侶動物、牛、豚などの産業動物を対象とする臨床獣医師のみならず公衆衛生面で社会的な対応の出来る獣医師を育て、動物の生命を守り、ともに人類の健康と福祉に貢献する人材を育成することを目標としている。</p>

麻布大	有	本学の建学精神である『学理の討究と誠実なる実践』を踏まえ、獣医学科では動物の疾病を理解し・診断と治療技術を身につけた獣医師の育成を目標に臨床教育を実施している。
日大	有	臨床教育の理念は、獣医学科の教育理念に含まれ、目的・目標はシラバスで明記されている。本学の獣医学教育の2本柱である臨床教育と衛生教育の充実を図り、特に臨床教育では教育病院である付属動物病院との教育上の連携がはかられ、臨床教育の目的と目標が明確に設定されている。

表 I-1-② 臨床教育目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味したものですか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね反映している	本学の生産動物医療教育は我が国の農・畜産分野から認知され、期待度が極めて高い。獣医師を採用している団体・組織はもとより、野外の第一線で活躍している獣医師から優秀な人材の輩出が求められ、その要請に応える教育を実践することは本学の使命である。伴侣動物医療教育は現代社会の趨勢から、時代の要請に応える高度な教育を展開しなければならない。
北里大	おおむね反映している	近年、伴侣動物の高齢化と室内飼育化に伴う代謝・慢性疾患並びに腫瘍などに対する獣医療はヒトの医療にも劣らぬ高度先端医療が求められている。臨床教育においても従来の基礎教育に加えて、高度医療機器や高度医療技術に対する専門教育が求められており、本学の臨床教育目的と目標はこれを追求するものであり、北里大学の使命の1つである「叡智と実践」にも合致している。
日獣大	おおむね反映している	本学において臨床獣医学の重要性に関する認識度は、全教員において年々高まる傾向にある。とくに近年になって急速に一般家庭で飼育されている犬、猫などの伴侣動物に関する飼い主の獣医療に対する要求度が高まり、また、牛、豚などの産業動物における獣医師による病性鑑定などの技術面の高度化も要求されており、それらの社

		会的な背景の中で、本学の臨床獣医学教育も教員などのソフト面に加え、付属動物医療センターにおける臨床教育と付属牧場や種々の産業動物診療施設の協力を得た産業動物臨床教育が時代の要求する獣医師を育成するために大きく活用されている。
麻布大	おおむね反映している	本学では卒後の進路として小動物・産業動物を含め臨床獣医師を目指す獣医学科学生が過半数以上を占める。また、社会的需要としても伴侶動物の高度医療や産業動物における診療技術面の高度化も要求されている。それらを加味して、附属動物病院に来院する症例を教材に臨床教育の充実を図っている。
日大	おおむね反映している	臨床教育の目的と目標には本学の使命と役割、また学習者の要望、社会的要請が十分反映している。獣医臨床の高度化に対応できるように、また入学生の学習意欲向上できる体制を導入している。また地域の二次診療病院としての社会的需要を加味している。

表 I-1-③ 臨床教育目的・目標に添った方針（アクション・ポリシー）は設定されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	平成 20 年度からカリキュラムが改編され、5 年次後学期から 1 年間生産動物、伴侶動物とともに必須科目としてクリニカルローテーションを実施することにしている。
北里大	有	臨床教育の目的と目標に沿った方針として、教育カリキュラムを平成 16 年度から大幅に改革し、地方に存在する大学の附属動物病院の立地条件により、比較的小動物領域における症例数は少ないものの、大動物の症例を含めて 1 つ 1 つていねいに教材に用いることを念頭にポリクリを実施している。
日獣大	有	臨床獣医学教育の根幹を担う臨床系教員数の増員と動物看護師など獣医療を支えるスタッフの増員、充実した臨床教育の場である診療施設の新設などが時代に即して実施され、また、学年進行ではあるが平成 16 年度からスタートしている臨床教育の枠を大

		幅に拡げた教育カリキュラムを中心に設定されている。また、本学動物医療センターでは主に二次診療を目的とした診療体制であることから、一次診療に関する教育を外部の開業獣医師の元に委ねたインターンシップで対応し、臨床教育の目的、目標に沿った教育を展開している。
麻布大	有	臨床教育の充実を図るために、臨床系教員・動物看護師等の病院スタッフの増員および診療設備の充実が急務である。平成19年度に附属動物病院においては5カ年計画を作成し、それを目標に活動している。
日大	有	臨床系教員の補充を図る努力を絶えず行い、また高度な医療機器等を積極的に導入し、臨床教育の整備充実を図るなどの所定の目的・目標に沿った方針は設定されている。

表Ⅰ-1-④ 臨床教育目的・目標・方針が学生および教員に周知されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおよそ周知されている	本学の建学の精神、キャンパス環境、シラバス、本学・獣医学部ホームページ、また実学等によって周知している。
北里大	おおよそ周知されている	臨床系科目を開始する際にはガイダンスを行い、教育目標と方針はシラバスに記載されている。臨床教員の指導のもと、学生自身で症例をレポートにまとめ、症例報告会を開催するなどして、活発に臨床教育の目的・目標・方針が周知されている。
日獣大	おおよそ周知されている	臨床教育の充実を図るために基礎獣医学はもちろんのこと公衆衛生などの応用獣医学教育を担う獣医学科全教員については総意を得ているが、学ぶ側の学生に関しては必ずしも臨床教育の目的・目標・方針について周知徹底されているとは言えない。しかし、付属動物医療センターを中心とした臨床教育の現場ではそれらを学生に対して周知すべく指導を行っている
麻布大	十分周知されている	学部教授会や臨床系・病院関係の各会議で協議の上に臨床教育の目標設定や方針を決定しているため、教員への

		周知は十分に行われている。学生に対しては、履修要綱(シラバス)等や授業・実習ガイダンスで周知している。
日大	十分周知されている	シラバスなどによって事前に学生および教員に臨床教育の目的・方針が周知されている。さらに、高学年次において開講されているローテーション教育の導入時にガイダンスを通して周知を図っている。

表 I-1-⑤ 臨床教育目的・目標・方針が学外に公表されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	本学ホームページおよび獣医学部ホームページを通して、学外に獣医学科教育の概要を公表している。また、入試課主催のオープンキャンパス（2回／年）、夏期全国5地域に派遣される大学説明会では獣医学科の教員による臨床教育の内容説明を行なっている。さらに、本学の大学案内、学生便覧、講義内容のシラバスなどを通して臨床教育内容の周知を計っている。
北里大	有	毎年、各年度ごとの学生便覧、学修要項シラバスにより公表し、獣医学部のホームページにおいても各科目について情報を公表している。
日獣大	有	主に本学案内のホームページを通して学外に獣医学科の内容を公表し、オープンキャンパスを複数回開催して獣医学科の教員によって臨床教育の内容を説明し、また、模擬講義によって受験生に対してより詳細な臨床教育の目的、目標、方針を公表している。加えて、本学の大学案内、学生便覧、講義内容のシラバスなどを通して臨床教育の内容を周知すべく努力している。
麻布大	有	平成20年度に予算を計上し、既存の大学ホームページ以外に附属病院のホームページを充実させた。その両者により、教育目標等については公表している。
日大	有	獣医学科および動物病院のホームページおよび学部案内、学科案内、パンフレット等の印刷物を介して、本学の臨床教育の目的・目標・方針は公表されている。

I-2. 動物病院の理念・目的・目標

表 I-2-① 理念をふまえた動物病院の目的・目標が明確に設定されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	1. 畜産王国北海道の生産動物医療、教育、研究の拠点を創る。 畜産物の生産と安全を守る獣医師養成 2. 北海道で有数の伴侶動物医療、教育、研究の拠点を創る。 動物を介した心の健康問題に寄与する活動 3. 野生動物医学をとおして環境問題研究の拠点を創る。 4. 臨床と研究および高度教育の連携の拠点になるセンターラボの創出。 環境汚染物質・感染病原体分析監視センターの設置
北里大	有	動物病院規程に記載されている。
日獣大	有	動物病院の理念をふまえた目的、目標は、本学の動物医療センター規程に示されている。また、病院に来院するクライアントや臨床実習を受ける学生に対して病院内に掲示し、その内容を周知している。
麻布大	有	大学附属動物病院の理念・目的・目標は、獣医学部学生教育・獣医師に対する卒後生涯教育・飼い主に貢献する診療・臨床研究であることを明確に設定し、ホームページや各種の大学案内等にも明記している。
日大	有	動物病院のホームページおよびパンフレットで、臨床教育上の役割が明確に設定されている。また、医局員と研修医等に対しては診療部会等を通じて動物病院の目的・目標の周知が図られている。

表 I-2-② 動物病院の目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味したものですか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね反映している	生産動物医療については、北海道内の NOSAI 家畜診療所、個人開業診療所、飼い主からの求めに対応できるような体制を構築している。伴侶動物医療も同様に個人開業診療所、飼い主からの期待に応えるための努力を重ね

		ている。
北里大	反映している部分が多い	大学および学部の理念に沿ったものである。しかし、設定されてからかなりの時間が経過しており、社会的ニーズに合わせた改正の検討が必要である。
日獣大	おおむね反映している	今日のように目まぐるしく変化する社会的背景の中、伴侶動物の飼い主の獣医療に対する要求度が益々高まり、産業動物分野における獣医師の責務も時代の流れと共に変化している。本学の付属動物医療センターでは、このような社会的背景の中、飼い主の要求に合致した、より高度な獣医療を提供し、ともに社会的な要求に対応できる獣医師教育を行うためにも病院の目的、目標を学習者の要求や社会的 requirement に対応するべく努力を重ねている。
麻布大	おおむね反映している	I-1-②にも記載したとおり、本学では卒後の進路として小動物・産業動物を含め臨床獣医師を目指す獣医学科学生が過半数以上を占める。また、社会的需要としても伴侶動物の高度医療や産業動物における診療技術面の高度化も要求されている。それらを加味して、附属動物病院の目標やアクションポリシーを決定している。
日大	おおむね反映している	動物病院の目的・目標は本学の使命と役割、また学習者の要望、社会的要請を十分反映している。獣医臨床の高度化にも十分に対応できるように、また入学してくる学生の学習意欲を充足できるよう、施設並びに要員に対して十分な体制を導入している。さらに地域の二次病院として社会的需要を加味し、機能している。

表 I-2-③ 動物病院の目的・目標に沿った方針（アクション・ポリシー）は設定されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	学生、関係組織・団体、飼い主には診療行為を通じて本学附属動物病院の使命の周知を行なっている。
北里大	有	動物病院の目的に沿った方針は設定されているが、具体的な方

		法など詳細な設定はなされていない。
日獣大	有	動物病院の目的・目標に沿った方針は既に設定され、飼い主並びに学習者である獣医学科学生に対して周知を図っている。
麻布大	有	本学の附属動物病院は、附属病院の機能を高めるために平成19年度に獣医学部附属から大学附属に組織変更した。その際に5カ年計画を作成し、それを目標に活動している。
日大	有	二次診療施設として高度医療を中心に地域医療センターとしての役割を果し、地域社会に貢献することを目的としている。このアクションポリシーは、動物病院運営委員会並びに病院内の診療部会等で設定・検証されている。

表I-2-④ 動物病院の目的・目標・方針が学生および教員に周知されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおよそ周知されている	臨床活動に興味を示さない学生を除き、周知されている。
北里大	周知されていない部分も多い	臨床系教員など動物病院規定を見ることがある一部の教員を除いて、積極的な広報活動など行っていないために、目的などが学生および教員に広く周知されていない。
日獣大	周知されていない部分も多い	診療担当の教員には周知徹底されているが、病院内で勤務する獣医師以外のスタッフ、修学している獣医学科の学生に対して周知は不十分である。
麻布大	十分周知されている	病院内における各部門会議や病院の意思決定機関である病院運営会議等で協議の上に病院の目標設定や方針を決定しているため、教員への周知は十分に行われている。学生に対しては、履修要綱（シラバス）等や病院実習ガイダンスで周知している。
日大	十分周知されている	学生にはシラバスおよび高学年次において開講される動物病院のローテーション実習ガイダンスおよび実習を通じて周知している。毎月、1回開催している動物病院セミナーも動物病院の目的に沿ったもので、多くの学

		生が参加しているという実績がある。また、研修医、医局員に対しては院内の診療部会が有効に機能している。
--	--	--

表 I-2-⑤ 動物病院の目的・目標・方針が学外に公表されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	本学および獣医学部ホームページ、各種パンフレット、エクステンション雑誌などで公表を行なっている。
北里大	有	動物病院のパンフレットなどでその概要が公表されている。
日獣大	有	大学のホームページ、大学案内及び動物病院のパンフレットなどのメディアを通して公表されている。
麻布大	有	平成 20 年度に予算を計上し、既存の大学ホームページ以外に附属病院のホームページを新規に作成し充実させた。その両者により、目標等については公表している。さらに、病院待合室においては、同じく平成 20 年度に病院広報の充実を図って製作した 20 分間前後の病院プロモーション DVD を毎日放映し、その一部で来院した飼い主にも本院の目的・目標・方針については公表している。
日大	有	獣医学科および動物病院などのホームページで公表されている。I-1. の⑤と同様な方法によって適切に学外に向けて公表されている。前述の動物病院セミナーも公開で多数の学外獣医師が参加しており、日本獣医師会の公式研修として認定されている。

表 I-3. 動物病院の目的・目標・方針に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	平成 20 年度から社会が求める環境・衛生、臨床活動に貢献する人材を養成するため、新カリキュラムが開始した。これにより教育の充実は一層図られるであろう。平成 16 年度から新動物病院開設を契機に本学の教育理念を実現するための診療行為が展開されつつある。しかし、スタッフ、医療機材設置に未解決の部分がある。
北里大	適切でない部分が多い	大学および学部の理念に沿った目的や目標が設定されているが、社会の要請にも対応できる柔軟性も必要である。また、学生および教員に動物病院の目的・目標など

		が十分に周知されていない一面もある。地域の基幹病院としても、今後は積極的な広報活動を実施する必要がある。さらに、臨床系教員に対しては、FDの一環として動物病院の理念および目標を十分に理解してもらう機会を設ける必要がある。
日獣大	適切な部分が多い	本学の獣医学部に付属する動物医療センターは、5年前に新設され、主に開業獣医師からの紹介症例に対する二次診療、すなわち高度獣医療を提供し、獣医学部の学生に対する臨床獣医学を教育する場として機能するよう臨床系教員を中心に学部に属する全教員の協力のもと活動を続けている。社会の要求する獣医療人を養成する場として、付属牧場での産業動物獣医学教育、産業動物診療施設などの協力によって、その目的を果たすべく努力をしている。ハード面、ソフト面ともに充実を図っているが、未だ理念、目的、目標を十分に達成するには至っていない。
麻布大	適切な部分が多い	前述したとおりこの2年で大きな改革を行ったが、学生や社会のニーズに即応しより具体的な目標を設定して改革を続行する必要があると考えている。
日大	おおむね適切である	教員および学生からの評価が高く、適切である。また、二次病院として地域の開業獣医師から厚い信頼を得ている。これは毎年、診療頭数が増加していることから明らかである。

II. 教育研究組織

臨床研究組織について、7項目にわたる質問に答える方式で、5大学の実情とその評価を解析した。

臨床教育研究を進めるにあたり、各大学とも適切な配慮・措置はされており、ほぼ全ての項目で、「おおむね適切である」と評価された。また、5大学とも臨床教育の意志決定機関が確立しており、適切な運営がなされている。

5大学において、臨床教育組織と動物病院は別個に設定されているが、教員が医局員も兼ねるなど、密接した関係となっている。

II-1. 臨床教育研究組織

臨床教育研究の充足を図るため、5大学とも組織上の配慮・措置は適切に実施されている（表II-1-①）。北里大、日獣大ではカリキュラムに対応して、内科・外科の教員組織を配置している。麻布大では講座制を廃止し（基礎・病態・予防・生産・臨床の5系に分類）、産業動物・小動物は各臨床系教員が担当している。また、酪農大では、生産動物医療において、実習動物数、飼育経費に大きく予算を割いており、教育予算に対する配慮をしている。

また、臨床教育研究を進めるにあたり、5大学とも、協議決定する委員会の設置や責任体制の明確化など、具体的な組織が確立している（表II-1-②）。

また、5大学ではカリキュラムの作成・変更、教員の増員など、学習者の要求に応える組織運営に努めている（表II-1-③）。

II-2. 臨床教育研究の管理体制

5大学とも運営委員会の設置など、運営責任を含めた管理責任体制はおおむね確立されている（表II-2）。臨床系教員と管理員委員会の連携は密にとられており、実務にあたっては臨床系生産系の教室単位で実施されていることが多い。

II-3. 臨床教育研究組織内の動物病院の位置づけ

5大学全てで、臨床教育組織と動物病院組織は別個に設定されている（表II-3-①）。麻布大では、動物病院は獣医学部付属ではなく、大学付属とし、獣医学部と同格組織として位置づけている。

各大学とも、臨床系教員は動物病院の医局員を兼務しており、当番制の診療活動、会議への参加など、臨床教育組織と動物病院は十分な関連が見られる（表II-3-②）。

II-4. 臨床教育研究組織に対する評価

臨床教育研究組織に対する評価として、教員数の問題などもあるが、おおむね適切と考えられている（表II-4）。日大では、動物病院の点検・評価に学生からのアンケートを活用している。

II-1. 臨床教育研究組織

表II-1-① 臨床教育研究が充分出来るような、適切な組織上の配慮、措置はありますか？

大学	有無 評価	コメント
酪農大	有 おおむね適切である	本学の建学の精神から経営陣を先頭に組織上の配慮、新たな計画等は行なわれている。現情勢下では、教育予算シーリングもやむを得ない一面もある。生産動物医療に関する実習動物繫養、飼養経費予算は全国一である。
北里大	有 おおむね適切である	臨床系教育研究の充実を図るために、平成16年度から新カリキュラムを立ち上げ、実施している。新カリキュラムの特徴は附属動物病院を利用したベットサイド教育と臨床系診療科目のローテーションであり、その為に、小動物系教員組織として、小動物外科系3研究室（教員2名×3=6名）、小動物内科系3研究室（教員3名、教員2名×2=7名）、放射線学研究室（教員3名）、大動物臨床系（内科2名、外科2名）、臨床繁殖学（教員3名）を配置し、さらに、附属動物病院専任教員1名の合計23名となっている。この組織は、基礎系（生体機構系）と応用系（保健衛生系）からも教員を配分し、学科全体で臨床系の診療と教育研究を支援する体制として始まり、平成20年度中に臨床系内の研究室配置の修正を加えながら、より良い形へと展開している。
日獣大	有 おおむね適切である	臨床系教育研究には獣医学科および獣医保健看護学科が関わっているが、獣医学科では臨床系教育研究の充実を目的として平成16年度に新カリキュラムを立ち上げスタートしている。新カリキュラムでは総合力を養うための臨床系と応用系からなる獣医総合実習が特徴である。臨床系では5年次後期および6年次前期に動物医療センター内において、内

		科系および外科系診療科でのラウンド形式のベッドサイド教育を実施している。動物医療センターでの教員組織としては、内科系診療科 15 名（獣医学科 10 名、獣医保健看護学科 5 名）、外科系診療科 9 名（獣医学科 9 名）と専任助手 4 名および動物看護師 6 名が従事している。大動物関係では、付属牧場を用いた内科学、外科学および繁殖学に関わる教育に合わせ、全国の NOSAI 関係機関を中心とした、診療施設での臨床系教育研究を展開している。また、獣医保健看護学科は平成 17 年度に新設され、本年度で全学年がそろっている。動物医療センターを用いた臨床系教育研究は 3 年次後期および 4 年次前期に実施され、獣医学科同様内科系および外科系診療科における実践教育と病院管理教育が実施されている。
麻布大	有 適切な部分が多い	本学ではすでに講座制を廃止し、基礎・病態・予防・生産・臨床の 5 系に分けて獣医学教育を実施している。臨床教育は、産業動物臨床が生産系、小動物臨床は臨床系が担当している。従来の講座制に比較し、臓器・疾患別の充実した臨床教育および研究が施行しやすくなった。
日大	有 おおむね適切である	臨床教育研究が十分できるような授業配分と動物病院の診療科への配置と担当日を決めている。また、有給・無給の研修医制度が確立しており、学生教育に対しても充実が図られている。さらに、動物病院では臨床経験豊かな数名のベテラン獣医師を非常勤講師として採用している。

表II-1-② 臨床教育研究を進めるにあたり、学内での意志決定機関は確立され、適切に機能していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	有 おおむね機能している	平成 20 年度からスタートした新カリキュラムを確實に執行しなければならない。平成 20 年度から意思決定機関が整備され、学長、学部長の責任体制が明確化されている。
北里大	有 おおむね機能している	臨床教育研究については、臨床系研究室から 1 名の教員が出席する系の教育検討委員会において、隨時、問題点、臨床教育のあり方などが検討されている。更に、上位の委員会としては、学科カリキュラム委員会があり、ここでは 3 系のカリキュラム委員 9 名が、カリキュラム全体の問題を含めて運用を検討している。更にその上位に学科会議があり、学科における教育研究の意志決定機関となっている。
日獣大	有 おおむね機能している	獣医学科においては、獣医総合（臨床・実習）運営委員会が設置されており、臨床系教員を中心に臨床教育のあり方、基本的方針について検討されている。獣医総合実習に関しては、獣医総合実習検討委員会が臨床系および応用系実習の具体的な内容およびその運用について検討しており、それらの検討結果が最終的に学科会で報告され検討承認される。なお、他の授業および実習との調整等は教務委員会で行われている。獣医保健看護学科においても、同様に臨床系実習の検討が行われ学科としての方針が決定されている。そして、動物医療センターで行われる実習については、両学科の臨床系教員からなる臨床実習調整委員会が設置されている。ここでは、両学科で行われる動物医療センターでの臨床教育研究が円滑かつ充実した内容となるための調整を行っており、随時問題点およびその解決策とともに、より教育効果を上げるための具体案が検討さ

		れ、それぞれ学科会に持ち帰り検討承認されている。最終的には、学部教授会が意志決定機関となっている。
麻布大	有 充分機能している	臨床系会議と生産系会議で協議し、獣医学部教授会で決定するシステムがおおむね機能している。
日大	有 おおむね適切している	獣医学科内会議および動物病院運営委員会によって適切に機能している。さらに、臨床系の教員を含む医局員で構成されている診療部会によって具体的かつ実践的な意志決定がなされている。さらに、毎年、数回開催される学部の付属機関長等協議会に病院長が出席し、学部からも適切な指導を受けている。

表II-1-③ 臨床教育研究組織が大学の使命・目標や学習者の要求に対応できるよう、充分機能しているか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね機能している	生産動物医療教育群、伴侶動物医療教育群、環境・衛生教育群とともに学生の要求に応えるための教員の増加を行なっている。
北里大	おおむね機能している	獣医学科では、北里大学の建学の理念のひとつである「実学教育の実践」に基づき、獣医療の高度化に対応した問題解決能力に直結する専門的な知識と技能のみならず、人間性に富み幅広い視野を持つ獣医師の養成を目標としている。臨床系教育研究組織と附属動物病院はこの使命と目標や学習者である学生の要求に対応出来るように、組織運営に努めている。
日獣大	おおむね機能している	獣医療の高度化に伴い、臨床教育研究はこれらの要求に対応できる基本的知識と問題解決能力を身に付けることが使命となっている。本学獣医学科では、基礎獣医学、応用獣医学および臨床獣医学教育を通して専門的な基礎知識の習得を目指し、それらの応用能力および問題解決能力を養う場として獣医総合実習を立ち上げた。動物

		医療センターを利用した獣医総合実習では、ベッドサイド教育で経験した臨床例について症例の評価、診断の進め方および各種検査等の考え方と評価、そして治療方針の立て方と実践的な治療について教員との症例カンファレンスを行い、臨床的知識の構築を学べるようにしている。また、十分な理解が得られない部分については、自己学習時間を設け問題解決をするよう指導している。これらは、本年度から始まったシステムであるため、さらなる評価には今後が待たれる。
麻布大	おおむね機能している	ハイテクリサーチセンターを臨床センターに併設し、臨床材料を用いた研究の場を設けた。しかし、平成 20 年までは大学付属の研究所等の基礎研究組織に比較し十分機能しているとは言い難い状況であった。これは、臨床系教員の多くが病院における診療負担が重く、研究に時間を避けないことが大きな原因であると考えられる。平成 19 年末から、遺伝子研究等で基礎系教員と臨床系教員の共同研究プロジェクトが開始され、今後はハイテクリサーチセンター等の大学研究組織が十分に機能していくものと考えられる。
日大	おおむね機能している	獣医学科内会議および動物病院運営委員会により協議を行っている。また、学科内の教務担当者と臨床系教員の連絡を十分に図っており、臨床教育のカリキュラムの見直し・変更など、学生への配慮を十分に行っている。

II—2. 臨床教育研究の管理体制

表II-2 臨床教育研究を進めるにあたり、運営責任を含めた管理体制は確立されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	確立している部分が多い	獣医学部長を責任者とする学部運営協議会は 5 教育群長で構成され、教育・研究・配分予算執行を担当している。また、附属動物病院長を責任者とする 3 学部教員で構成される動物病院運営協議会は テーチングホスピタ

		ルを支えている。
北里大	おおむね確立している	臨床教育研究の運営責任は、それぞれの研究室が最も小さなユニットとなるが、教授不在の場合には系の教授が所属上長となり、運営責任を負っている。附属動物病院の管理運営は病院長がその責任を負う。
日獣大	おおむね確立している	臨床教育研究の管理体制としては、教務委員会によりカリキュラムの管理運営がなされているが、その具体的な実施については、教室単位で行われている。教室の責任者は教授または准教授となっている。動物医療センターにおける診療および臨床教育研究体制は、大きく内科系診療科と外科系診療科に分かれ、それぞれの臨床教員が各自の専門分野で診療教育に当たり専任助手がそれを補佐している。各診療科は診療科長が管理運営し、病院長が統括している。また、獣医保健看護学科においても臨床部門教員が臨床教育研究にあたり、教授が責任者となっている。動物医療センターにおける体制は、獣医学科教員と同様であり、両学科教員が両学科の診療教育に関与している。
麻布大	おおむね確立している	臨床教育については、臨床系と生産系にそれぞれ系会議と系主任・副主任制を設け、教育カリキュラムの管理運営体制を確立している。研究については、従来の講座制を研究室制に変革し、各研究室に運営責任を持たせて、学生の卒業論文作成に関する研究等も含めて管理運営している。
日大	おおむね確立している	学部委員会として動物病院運営委員会による管理体制が確立されている。さらに臨床系教員の密かな連繋により、ローテーション教育の責任分担と管理体制は確立している。

II-3. 臨床教育研究組織内での動物病院の位置づけ

表II-3-① 臨床教育研究組織と動物病院組織は別個に設定してありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	当然、別個に設定されている。
北里大	有	獣医学科には教育単位として3つの系があり、その一つが臨床系教員からなる組織である。また、動物病院の組織として、臨床系教員、臨床系教員以外の獣学科教員および他学科の教員からなる医局員による組織がある。
日獣大	有	獣医学科および獣医保健看護学科とも、教育単位としては獣医学科では臨床系教室、獣医保健看護学科では臨床部門が担当している。動物医療センターは獣医学部の組織下にあり、両学科の臨床系教員と専任助手および動物看護師が診療教育を担当している。動物医療センター内では、各自の専門分野における診療教育となるため、内科系診療科と外科系診療科に分かれ、病院長を頂点とし各診療科長が管理運営する組織となっている。
麻布大	有	前述したとおり、臨床教育は臨床系・生産系と獣医学部教授会で運営責任を持ち管理運営している。病院は、大学附属で獣医学部と同格組織として別個に管理体制を設けている。
日大	有	本学動物病院は、獣医学科学生の臨床教育における教育病院として十分に機能しているが、病院には病院長を配し、組織は別個に設定している。

表II-3-② 臨床教育研究組織と動物病院組織は関連性がありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	当然である。臨床系教員および病理学の担当教員は動物病院活動も行なっている。
北里大	有	全ての臨床系教員は動物病院組織としての医局員であり、その大半を占めている。病院における診療については、教育研究単位で週1回の病院当番制を実施し、関連性を持たせている。
日獣大	有	獣医学科および獣医保健看護学科の臨床系教室教員および臨床部門教員が、動物医療センターの診療教育スタッフを兼務しており、週1~3回の診療教育に当たっている。それ以外に、動物

		医療センター専任助手、動物看護師および臨床検査技師が診療教育の補佐を行っている。
麻布大	有	臨床教育の中で実習系はほとんどが臨床センターで実施され、ラウンド実習に関しては、すべて病院で行っている。獣医学部臨床系教員は、すべてが獣医学部専任・病院兼任または病院専任・獣医学部兼任であり会議等でも十分な連携を持ってそれが運営している。
日大	有	両組織は関連性を有している。つまり、獣医学科の設置基準に準拠し、当然、臨床教育の場である教育病院として学科と動物病院は十分かつ適切に関連している。

表II-4 臨床教育研究組織に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	獣医学教育に関する国際水準と比べ、未到達な部分はあるが、現時点ではやむを得ない。
北里大	おおむね適切である	オープンリサーチ、ハイテクリサーチ等共同参画し、研究室間の連携が取れ、おおむね適切である。
日獣大	おおむね適切である	平成21年度より動物医療センターの診療専任助手を採用し、獣医学科および獣医保健看護学科教員の臨床教育の補佐をするなど、臨床教育研究組織としてはおおむね適切である。
麻布大	おおむね適切である	教員数については後述するように十分とは言いがたいが、組織としては講座制から系組織制に移行しおおむね適切運営されている。
日大	おおむね適切である	組織は適切に運営されている。臨床教育研究組織の担当者である臨床系の教員の研究活動ならびに学生教育の場である動物病院は、教員の研究業績と学生アンケート等により点検と評価がなされている。

III. 教育課程・教育方法

教育課程・教育方法について 15 項目に対する質問に対して答える方式で、5 大学の実情とその評価を解析した。5 大学とも臨床系教育の充実と施設整備を図るために、特に、過去 10 年間、大学の立地条件や建学の理念と目標に沿って自助努力を重ねてきた。現行の教育体制で可能な限りの改善と工夫を重ねられている様子が認められ、多くの項目の評価は「概ね適切である」と評価された。

しかし、6 年制獣医学教育の将来目標や欧米の獣医学教育水準に比較すると、現状は満足に値するものではなく、5 大学が競争と協調の精神で、独自の努力と 5 大学が連携した臨床教育システムの新たな創造が今後の課題である。

III-1. 教育課程

5 大学において、臨床教育課程の編成方針は適切に設定されており（表 III-1-①）、酪農大と北里大では平成 20 年度の 5 年生後期からクリニカルローテーション科目が開講され、日獣大でも平成 16 年度から臨床関連科目の割合が 50% となる新カリキュラムを実施している。麻布大では 5 年次に臓器・疾病別講義を編成し、従来の科目別体系よりも効果的との評価がなされている。日大も国際水準に合わせたカリキュラム編成を努力している。

臨床教育における授業科目と単位編成については、臨床教育充実の方向性は大学間で違いは無いが、単位数については、北里大の臨床系科目が 25% に対して日獣大では 50% と大きな開きがある。生産動物診療と伴侶動物診療に関する授業科目と単位数については、新カリキュラムを運用中の酪農大、北里大、日獣大、日大に対して、麻布大は単位数の見直しを今後検討する必要あると考えている（表 III-1-②）。

5 大学では、教育課程の編成方針に則した授業科目・授業内容で教育が実施されており、問題は無いが、麻布大では臨床技術の高度化に伴った改革の必要性もあると捉えている（表 III-1-③）。

倫理面からの教育に関しては、4 大学は高学年で「獣医倫理と動物福祉学」を開講し実施しているが、日獣大では 1 年次から開講され、さらに 3 から 5 年次には実習開始前に生命倫理と実験動物の講習会を必修としている。（表 III-1-④）。

臨床教育における実践・実務能力を育成する教育の実践については、大学間で評価が分かれ、概ね実践していると答えた酪農大、麻布大、日大では附属動物病院を利用した伴侶動物と生産動物、更には環境・衛生教育が概ね実施されている。一方、北里大と日獣大では附属動物病院における教育の限界（見学主体の実習に

ならざるを得ない現実）について言及し、学外における学習の必要性が指摘されている（表Ⅲ-1-⑤）。私学では学生数も多く、今後、実践・実務能力を育成する教育についてコンテンツ、各種団体との連携などの方法論について総合的に検討する必要がある。

5 大学における臨床系所属教室（研究室）への研究教育経費の配分については研究費の内訳は公開されていないが、他の教育群（系）と同様に適切に実施されていると回答されている（表Ⅲ-1-⑥）。

III-2. 教育方法

5 大学における教育方針・目的は、学科会議や教育委員会などの実務組織での検討が重ねられており、教員個人の自由度を保たせつつ授業内容・教育方法などに概ね反映されていると捉えられている（表Ⅲ-2-①）。

5 大学では教育方針に則した授業内容・授業科目が適切に設定されている（表Ⅲ-2-②）。

5 大学では、講義・実習内容を盛り込んだ充実したシラバスが毎年更新され、適切に活用されている（表Ⅲ-2-③）。

授業方法に関する工夫については、酪農大、北里大、日獣大、麻布大、日大では来院・入院動物を対象とした症例検討会や症例報告会等を開催し、また、日大では海外非常勤講師を委嘱し、先進諸国の知見を教育に反映させている（表Ⅲ-2-④）。

また、動物病院を活用した教育研究指導に関しても 5 大学で十分配慮されている（表Ⅲ-2-⑤）。特に、日獣大では動物医療センターでの指導時間、ミニレクチャー、実習時間なども細かく設定されたラウンド実習が運用されている。

動物病院を活用した実践的教育の実施方法は 5 大学で適切に整備されているが、何れの大学もハード面（病院面積）とソフト面（担当教員数）において今後検討の余地があると述べている（表Ⅲ-2-⑥）。日獣大では実習実施のために、4 名の助手と獣医保健看護学科実習担当の実習嘱託 7 名が配置されており、この人的充実度は他の 4 大学と大きく異なる。

III-3. 結果に対する評価

5 大学全てが教育学習結果に対しての評価システムとして、学生の授業評価を科目ごとに実施しており、その結果は、担当教員にフィードバックされ、適切に機能していると考えられている（表Ⅲ-3）。当然ではあるが、学習評価について教

育改革にどのように活用・反映していくのか継続的検討が必要である。

III-4. 臨床教育における独自の工夫

5大学それぞれが臨床教育における独自の工夫があり、詳細は表III-4に記載した。酪農大では実習牛が自習用に開放されており、付属動物病院を利用したラウンド実習（ローテーション実習）と症例報告会におけるプレゼンテーション或いは症例報告書の提出などの教育効果を引き上げるための方策、海外臨床研修事業の実施など、5大学でそれぞれの状況に合った工夫がなされている（表III-4）。

III-5. 教育課程・教育方法に対する自己点検・評価

5大学において臨床教育課程・教育方法に対して自己点検・評価が実施されて、それは適切に運用されている。平成16年に新カリキュラムが始まった大学が多く、これらが一巡して、今後はその改善・改革に自己点検評価が活用されるものと期待する（表III-5）。

III-1 教育課程

表III-1-① 臨床教育目的を達成するために教育課程の編成方針は適切に設定されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	現行カリキュラムにおいては総合臨床授業を開講し、伴侶動物を対象とする講義と実習を3年次から行なっている。生産動物を対象とする開講科目は4年次後学期であることが適切さを欠いている。平成20年度カリキュラムでは、5年次後学期からクリニカルローテーション科目が開講される。
北里大	おおむね適切である	平成20年度の5年生より病院を利用した総合実習等の臨床系に重点を置いた新カリキュラムの運用が開始され、これまで以上の成果が期待される。
日獣大	おおむね適切である	現在実施しているカリキュラムは平成16年度から実施している。編成方針は臨床教育の充実のために、臨床関連の授業・実習が獣医学教育の約50%とすることである。原案作成から3年ほどかけて学科内で協議され設定されたものである。
麻布大	おおむね適切である	臨床教育の編成は、獣医学科4年次に獣医外科学・内科学・放射線学・臨床繁殖学等の総論講義を実施し、5年次にそれぞれの各論を総合臨床として臓器・疾患別に講義する編成方針を設定している。従来の学問別各論教育に比較し教育効果は高いと考えている。
日大	おおむね適切である	編成方針は常に検討して設定されている。社会の求める臨床教育、国際水準の臨床教育を絶えず勘案し、教育課程、カリキュラム等が適切に運用できるように努力を行っている。

表III-1-② 臨床教育において、授業科目および単位が適切に編成されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	おおむね適切と思われるが、生産動物臨床に関する授業開講が遅いため、学外実習を希望する学生の要望に応えていない部分がある。
北里大	おおむね適切である	臨床系教育研究の充実を図るために、平成16年度から新カリキュラムを立ち上げ実施している。新カリキュラムでは、卒業所要総単位182単位中、一般教養授業科目は36単位、専門教育授業科目は146単位が配分されている。専門教育授業科目は、関連科目、生体機構系科目、予防衛生系科目、臨床系科目および共通科目から構成されるが、これらのうち臨床系科目には37単位(37/146単位、25.3%)が配分されている。
日獣大	おおむね適切である	臨床系講義項目および実習は、3年後期から5年前期に集中して実施する形式をとっている。また、5年後期より6年前期は獣医総合実習(ラウンド実習)として動物医療センター内での実習を1年かけて行う。臨床関連の補足授業は、5年後期から6年後期にかけて曜日限定および集中授業にて実施する。現在、新カリキュラム学生が5年生後期を迎える、動物医療センター内でのラウンド実習を実施している最中である。
麻布大	おおむね適切である	今後は伴侶動物の高度医療や産業動物における診療技術面の高度化に対応して授業科目や単位数を見直す必要があると思われるが、現在のところはおおむね適切であると考えている。
日大	おおむね適切である	新カリキュラムによって適切に編成されている。社会の要請、国際水準、ならびに獣医師国家試験の臨床科目等を考慮し、授業科目、単位等の運用が適切に行われるよう配慮している。

表III-1-③ 教育課程の編成方針に則した授業科目・授業内容になっていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね則している	当然である。
北里大	おおむね則している	新カリキュラムでは、個々の専門科目を明確にする目的から、大きな括りであった単位を分割し、半期毎に1単位で修了できる形にして、きめ細かい教育を可能としている。また、臨床実習も小人数のグループに分割してローテーションすることで、目の行き届く実習を目指している。さらに、臨床系科目の充実を実現するために専門科目の低学年（1年次）での履修をも考慮している。
日獣大	おおむね則している	教育課程の編成方針に即したカリキュラム編成がカリキュラム検討委員会にて検討され改訂された。授業科目についてはカリキュラム検討委員会にて検討・立案され、獣医学科会議にて審議された。平成16年度から実施されている。授業内容については、担当者に任せている。しかし、シラバス等で重複部分の教育方法については検討することとなっている。臨床教育に関しては「獣医総合実習」に関する委員会にて調整が行われて授業・実習内容が逐次検討されている
麻布大	おおむね則している	おおむね則しているが、今後は臨床技術の高度化に伴い授業科目や授業内容を改革する必要があると思われる。
日大	おおむね則している	上記②において回答したように教育課程の編成方針と授業科目・授業内容はおおむね則している。

表III-1-④ 倫理面からの教育はなされていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	獣医師国家試験出題を意識し、現行カリキュラムでは「獣医学総合講義」、また新カリキュラムでは「獣医倫理と動物福祉」を開講する。
北里大	有	学部教育の齊一科目に獣医倫理・動物福祉学が必修科目として開講されている。

日獣大	有	獣医学科では1年生および5年生にて「獣医倫理学」として教育を行っている。これは、医療センターでの獣医総合実習の最中であり、現場での実習とシンクロしている。6年次には「獣医畜産法規」の講義において倫理的側面も講義する。動物に対する生命倫理に関しては1年次より動物に関する実習開始時に必ず教育をするとともに、3年次から5年次の学生には生命倫理、実験動物に関する講習会が実施され、受講していないければ動物に接することが許されていない。
麻布大	有	獣医学科5年次配当の総合臨床（8単位）において、獣医倫理を必須科目として包含し倫理教育を行っている。
日大	有	この分野における社会的な要請を十分に加味し、1年次開講の「獣医倫理・動物福祉学」などによって教育している。

表III-1-⑤ 臨床教育において、実践・実務能力を育成する教育を実践していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね実践している	生産動物医療教育群、伴侶動物医療教育群および環境・衛生教育群では第一線で活躍できる獣医師の養成を行なっている。
北里大	実践していない部分も多い	現在の獣医師制度のもとでは、動物病院での実践教育はある程度限定されるを得ず、今後の改善方法などを検討中である。
日獣大	実践していない部分も多い	まず1年生に臨床体験実習を実施し、獣医・臨床への動機付けを行っている。外科学、内科学、放射線学、臨床病理学、繁殖学に関する実習を4年から5年前期に実施して。それらの実習を基盤に、5年後期から6年前期に付属動物医療センターでの「獣医総合実習」を実施して。ただし、付属動物医療センターでの実習は来院患者の診療による実習であり、見学や一部の動物を触れない補助に限定されることも多く、実際の診療に参加することが難しい部分もある。本学には獣医保健看護学科の学生もおり同時に医療センターにて

		実習を行っており、臨床看護師とのコミュニケーションの実践も行っている。
麻布大	充分実践している	本学の建学精神である『学理の討究と誠実なる実践』を踏まえ、3年前から臨床教育で重要な役割を果たす附属動物病院を大学附属として独立運営し充実を図った。臨床の実践・実務能力を伸ばす実習教育は、附属動物病院で実践している。産業動物の臨床教育に関しては、神奈川県相模原市津久井地区と連携を図り症例を集めるとともに、学外実習で補填している。
日大	おおむね実践している	動物病院におけるローテーション教育を実践しており、臨床教育における実践・実務能力の育成は果たしているものと考えている。

表III-1-⑥ 臨床系所属教室（研究室）への研究教育経費などは適切に分配されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	本学では教員の向学心、研究意欲により予算は配分される。獣医学部では5教育群に均等配分される。
北里大	おおむね適切である	獣医学部に所属する3学科の研究室への研究・実習費配分は、学部長が提示した年度予算額に対して教育委員会がこれまでに学部教授会において承認されている算定方法を用いて、教員数、専攻学生数、科目単位数などから分配する。臨床系に限らず、基礎系、応用系研究室に適切に配分されている。
日獣大	適切な部分が多い	教員人数、実習単位数、所属学生数などを根拠として、学科の予算を分配している。「獣医総合実習」「臨床体験実習」「臨床基礎実習」その他、牧場施設を利用した産業動物実習、臨床現場での実習などの実習経費は、学科の共通経費で賄っている。
麻布大	おおむね適切である	金額については十分とは言い難いが、教員数に応じて臨床系研究室への研究教育経費は、おおむね適切に民主的な分配がなされている。

日大	おおむね適切である	獣医学科内における科内会議のコンセンサスと決定により、教育・研究経費の配分は適切である。
----	-----------	--

III-2. 教育方法

表III-2-① 教育方針・目的は授業内容・教育方法などに充分反映されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね反映している	教員、スタッフが意識的な取組みを行なっているので、教育方針は反映されている。
北里大	反映している部分が多い	臨床教育の教育方針と目的は、臨床系教育委員会等において各科目担当者間で授業内容を十分に反映されるよう検討吟味され、シラバス等にも記載されている。
日獣大	反映している部分が多い	教育方針・目的にあわせたカリキュラム編成が行われた。方針、カリキュラム内容については獣医学科会議で何度も議論され、検討され周知された。「獣医総合実習」を中心とした臨床教育に関しては、臨床教員だけではなく公衆衛生、病理学などの教員も加わり、いかに教育目的を達成するか、実施方法などについて検討され、内容を吟味している。
麻布大	おおむね反映している	授業内容や教育方法については各教員に自由度を持たせているが、学生の授業評価等で問題が指摘されれば系会議等で各教員に改善を求めることができる。現在のところ、教育方針・目的はおおむね反映されていると考えている。
日大	おおむね反映している	臨床教育の方針と目的を十分に反映した臨床教育は高学年に配置しているローテーション教育によって達成されている。

表III-2-② 方針に則した授業内容・授業科目は適切に設定されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	現行カリキュラムでは総合臨床教育を行なっている。新カリキュラムではさらに臨床を意識した授業が展開さ

		れる。
北里大	おおむね適切である	臨床系科目の充実を実現するために、従来の講義・実習に加え、付属小動物病院（平成 20 年 4 月新設）を利用したベッドサイド教育と小人数グループによる臨床系診療科目のローテーションが実施されている。また、新カリキュラムの中では、獣医師としての倫理意識の向上を図る為に「獣医倫理・動物福祉学」が新たに配置されている。さらに、産業動物と小動物領域の役割分担を明確にした科目配置となっている。
日獣大	おおむね適切である	教育方針にあわせたカリキュラム編成が検討され、平成 16 年度から実施されている。授業科目についてはカリキュラム検討委員会にて検討・立案され、獣医学科会議にて審議された。授業内容については、担当者に任せられている。しかし、シラバス等で重複部分の教育方法については検討することとなっている。臨床教育に関しては前項のごとく、「獣医総合実習」に関する委員会にて調整が行われている。
麻布大	おおむね適切である	III-2-①に記載したとおり、おおむね適切であると考える。
日大	おおむね適切である	教育方針の一つである獣医師国家試験の内容をカバーする授業内容・授業科目の設定は適切になされている。

表III-2-③ シラバスが作成され、適切に活用されていますか？

大学	有無 評価	コメント
酪農大	有 適切な部分が多い	当然、毎年シラバスは更新され、各授業で運用されている。
北里大	有 おおむね適切である	シラバスの作成は教務課の支援のもと、毎年行われており、それに添った講義・実習が展開されている。しかし、作成されたシラバスの詳細さには、担当教員個々に差がある。また、講義・実習の進行状況も係わっており、展開されている講義・実習とシラバスが 100% 一致しない場合もある。

日獣大	有 おおむね適切である	シラバスの作成は毎年行われている。新カリキュラム移行期はカリキュラムと授業実習の進みに合わせながら改変している。
麻布大	有 おおむね適切である	毎年、獣医学部教務委員会が中心となり、シラバスを作成し学生・教員全員に配布している。現在のところ、おおむね適切に活用されている。
日大	有 おおむね適切である	学生の予習に資するシラバスは重要であり、授業内容を盛り込んだ充実したシラバスが作成され学生に配布されている

表III-2-④ 授業方法に工夫はありますか？（例：ケーススタディ、ディベート、フィールドワークなど）

大学	有無	コメント
酪農大	有	当然、来院・入院動物を対象とする授業を行なっている。
北里大	有	レポート、症例報告会を開催し、学生が積極的に参加するようにパワーポイント等を用いてプレゼンテーションを科し、教員が講評する形式を実施している。
日獣大	有	講義、実習の担当の教員に任せられている。授業ではパワーポイントによる講義形式が多い。ビデオや録音を用いた講義もある。
麻布大	有	獣医学科5年次配当の総合臨床では、病院症例を題材にしたスライドレクチャーや手術動画等を駆使して視聴覚教育の充実を各教員が図っている。5年次後期・6年次前期に附属病院や学外で行われる臨床実習では、症例検討会や発表会を通じてディベート・フィールドワーク等を取り入れている。
日大	有	ケーススタディなどを積極的に取り入れている。また、毎年、海外非常勤講師を委嘱し、先進諸国の知見を教育に反映させていく。

表III-2-⑤ 動物病院を活用した教育研究指導の配慮はなされていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	学生には眼前的疾患動物診療を行ない、得られた各種データを蓄積、取り纏め、その成果を学会・研究会等で発表している。

北里大	有	本年度より、新カリキュラムを実施するにあたり、1周ごとのコーディネーターと週1回の当番制の担当医（複数）が診療の中で指導を行なっている。
日獣大	有	動物医療センターで実施される「獣医総合実習」では、1) 朝9時診療開始以前から、当日の診療担当獣医師に付き、当日の診療症例に関する説明を聞かせる。2) 17時から19時まで診療実習を行う。3) 外科系および内科系の各診療科で毎日症例検討またはミニレクチャーを実施している。4), 症例に関するレポートの提出する。5) 半期に一症例ずつの症例報告を義務づけている。
麻布大	有	前述したとおり、附属動物病院は、診療のみならず教育研究指導面でも十分に活用され配慮がなされている。
日大	有	必須科目であるローテーション教育は当然のこと、毎月、動物病院セミナーを開催し、動物病院を活用した教育・研究指導がなされている。

表III-2-⑥ 動物病院を活用した実践的教育の実施方法は適切に整備されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	学生数から判断すると附属動物病院収容能力、教育担当責任者は少ないと思われる。
北里大	おおむね適切である	5年生の必修科目として小動物病院実習および大動物病院実習、6年生の選択科目として小動物臨床実習・演習および大動物臨床実習・演習が配当されている。これらの科目は、動物病院を利用した実践的な教育が行われている。また、これらの科目を適切に実施するために、小動物診療センターが平成20年4月に増改築され、実践教育の場として整備された。
日獣大	おおむね適切である	動物医療センターでの実習として、1年生では、「臨床体験実習」、5年後期および6年前期に「獣医総合実習」を行う。獣医学科臨床系教員および獣医保健看護学科臨床部門教員に加えて、実施のために、病院の実習を行うために、4名の助手および獣医保健看護学科実習担当の

		実習嘱託の7名は実習を担当する。
麻布大	適切な部分が多い	III-2-④に記載したとおり、実施方法については適切に整備されてきたが、学生数が多いため、施設面積や教員数については改善しなければならない点が多い。
日大	おおむね適切である	必修としたローテーション教育により適切に実施されている。

III-3. 結果に対する評価

表III-3 教育学習結果に対する評価システムはありますか？ある場合、適切に機能していますか？

大学	有無 評価	コメント
酪農大	有 適切な部分が多い	学生による授業評価システムが機能し、FD推進委員会が各学期2回アンケート回収と取り纏め作業を行っている。
北里大	有 おおむね適切である	学生による授業評価は、全教科において自己の担当する科目について行なうことが義務づけられている。授業評価の実施は、主として担当教員以外の者が用紙の配布・回収を行ない、そのままの形で教務課に提出され、集計と報告が行なわれている。評価の記述はマークシートと自由記述欄の併用であり、担当教員への結果のフィードバックは迅速に行われている。
日獣大	有 おおむね適切である	各授業科目に関しては、学生による授業評価（授業アンケート）が全科目において実施されている。授業アンケートは、各科目の最終授業時に担当教員からアンケート用紙が配布され、回収は授業後に学生が行い所定の封筒に入れ密封した後、学生が教務課に提出している。集計は教務課で行われ、各教員には関係授業科目の集計結果が報告される。アンケート用紙は、マークシートと自由記述の併用である。
麻布大	有 おおむね適切である	一年に一回、教務課が中心となって全講義・実習の学生評価を実施している。評価システムはおおむね

		適切に機能しているが、その評価をどのように教育の改革に生かすかについては、論議のあるところである。
日大	有 おおむね適切である	教員は全員、学生による授業アンケート調査を実施している。その結果を授業の改善にフィードバックしている

表III-4. 臨床教育における独自の工夫を記述してください。

大学	独自の工夫について
酪農大	<p>生産動物医療教育群では、7：30 および 16：30 から 1 時間程度担当教員と学生が入院棟および感染動物管理室に収容されている動物のラウンド診療教育を行なっている。学生は実学のため、教員・研修医とともに野外診療に出向するスケジュール作成を毎月行ない、実践している。実習棟に収容されている実習牛、提供牛は隨時各種検査が自習できるよう開放している。</p> <p>伴侶動物医療教育群では、所属学生に対し担当教員を定めそれぞれの専門性を重視しつつ、合わせて一般臨床を網羅した臨床教育指導を行なっている。まず、全所属学生は担当教員以外の 7 診療科に隔週毎に 1 週間参加して、5 年生前期までの 2 回のローテーションを通して伴侶動物医療の一般知識を集積し実際の臨床活動を経験する。次いで卒業までの 1 年半、所属する担当教員の診療科において外来や手術、入院治療を通してより専門的な獣医医療を経験する。</p>
北里大	<p>①斉一教育として、5 年後期に動物病院でのポリクリを実施している。</p> <p>②個々の症例に対する洞察力を養成することを目的としてレポートを提出させている。</p> <p>③アメリカの 3 大学、中国の 1 大学と協定し、夏期に希望学生を派遣し、実践教育を学ばせている。</p>
日獸大	基礎、応用および臨床系授業科目で学んだ知識を系統的に結びつけるために、獣医総合実習を新カリキュラムとして立ち上げた。その中で、小動物臨床教育に関しては、5 年次後期と 6 年次前期に付属動物医療センターにおけるラウンド実習（ベッドサイド教育）がある。そこでは、動物の見方、取り扱いから始まり、診断を行うための検査の選択と実施お

	よびその評価について、基本的な考え方を学ぶ。また、治療に関しても、インフォームドコンセントによる治療方針の決定とその実際を学び、各学年の最後に各個人が症例のプレゼンテーションを実施する。これらを通して、二次診療施設が目指す高度獣医療を体験する。そして、一次診療に関しては、6年次に一般小動物病院における臨床実習を斉一教育として実施し実践教育を行っている。大動物臨床教育では、5年次に全国のNOSAI診療施設を中心とした臨床実習を斉一教育として実施しており、産業動物診療の実際を学ぶ。その他、海外臨床実習では、オーストラリアのクイーンズランド大学との提携により希望学生を夏期休暇中に派遣している。
麻布大	獣医学科4年次で、外科学・内科学・放射線学・臨床繁殖学等の臨床科目の総論講義を終えたあと、各論は5年次前期で総合臨床として臓器・疾患別に集大成して講義を行なっている。また、それに続く5年次後期の臨床実習も、3週間にわたる附属動物病院での集中的な各診療科ごとの臓器疾患別実習等を実施している。この方式により、学生は、従来の外科・内科等の学問別臨床教育よりもさらに実践的かつ系統的に臨床を理解できるものと考えている。
日大	動物病院におけるローテーション実習は5年次後期に集中して実施している。必修科目のため全学生が対象となる。学生は12週にわたる教育を受ける。1グループは12名程度である。この間は他の授業科目の開講を無くして設定されている。また毎月1回動物病院主催のセミナーに参加できる。

表III-5. 教育課程・教育方法に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	本学の建学の精神、獣医学教育理念を達成するため、社会と学生が求める最善のカリキュラム、シラバス作成を行なっている。
北里大	おおむね適切である	今まで概ね適切であると考えられるが、本年度より臨床系は新カリキュラムを実施したばかりで、現時点では点検・評価はできない。
日獣大	適切な部分が	獣医学の専門化が進み、高度な知識と技術が要求され

	多い	るばかりでなく、より高い人間性および倫理観を持つ獣医師の養成が求められているなか、これまでの本学における獣医学教育のシステムおよび方法に関する自己点検・評価をもとに検討・改革が進められてきている。そして、平成16年度からより獣医学の総合力を高めるための新カリキュラムをスタートさせている。特に、本年度からは獣医総合実習が始まり、新カリキュラムの成果が問われる段階となっている。したがって、新カリキュラムに対する自己点検・評価に関しては現時点では出来ない。
麻布大	おおむね適切である	教育課程と教育方法に関してはおおむね適切であるが、施設・設備・教育スタッフの充実は急務であると考える。
日大	おおむね適切である	学生による授業アンケートの結果は教員の意識改善に十分役立っている。

IV. 学生

IV-1. 教室（研究室）への学生の受け入れ

『臨床教育に相応しい環境の確保のため、学生数は適正に確保されているか』との問には、すべての大学で概ね適切との回答であり、それぞれ教員と学生間で適正な調整が試みられているものと評価された（表IV-1-①）。

『基礎系教室（研究室）の学生の臨床系教室への転向、またはその逆の転向があるか』については、北里大学以外の大学において、数は多くはないものの学生の意思あるいは事情を考慮して転向が認められている（表IV-1-②）。

IV-2. 学習支援体制について

『学生への学習支援体制』については、適切な部分が多いまたはおおむね適切であるとの回答であった。各大学ともに、図書館あるいはIT機器を利用した支援体制の構築に努めているが、特に、日大では、各教員がオフィスアワーを設けて学習支援に取組んでいる（表IV-2-①）。

『基礎系研究生の学生が臨床系研究室の研究内容に触れる機会を持つこと』に関しては、すべての大学で配慮されている。具体的には、ホームページ、卒論発表会、臨床セミナー等で対応されている（表IV-2-②）。

『学生に対する健康診断、心的支援、生活相談等』に関しては、すべての大学において、校医、看護師あるいはカウンセラー等による支援体制が取られている（表IV-2-③）。

『学生に対する就職・進学の相談、助言体制』は、各大学ともに、就職担当課あるいは学部の教員が連携を取って概ね適切に対応している。なお、北里大では、インターネットを活用したウェブカメラによる就職センター（全学就職支援組織）職員との個別面談も実施されている（表IV-2-④）。

『学生サービスに対する学生からの意見の汲み上げに対するシステム』は、全大学が有している（酪農大：アンケート調査・意見箱の設置、北里大：懇話会の開催・個別面談、日獣大：クラス担任・学生部委員会及び学生支援課学生対応、麻布大：アンケート調査・学内メール、日大：学生相談室・インテーカー有資格者対応）（表IV-2-⑤）。

IV-3. 学生受け入れに対する自己点検・評価（表IV-3）

『学生受け入れに対する自己点検・評価』では、「おおむね適切である」との回答が北里大、日獣大そして日大であった。日大では、今後、外国人留学生の受け

入れを促進したいとの意向を持っている。また、酪農大と麻布大は、「適切な部分は多い」との評価であった。麻布大では、研究室の面積や教員数の制約のために希望する学生をすべて受け入れられないという問題点が指摘されている。

IV-1 学生

表IV-1-① 臨床教育に相応しい環境の確保のため、学生数は適切に確保されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	現在、伴侶動物医療教育群所属を希望する学生が多い。これは教員の過負担になりつつある。
北里大	おおむね適切である	研究室への専攻生の配分は、教員数を基準にして適切な数が配置されるように実施されており、臨床系研究室に多く配分されるようなことは全く起こっていない。
日獣大	おおむね適切である	各教室への学生の受け入れは3年次から行われる。2年次の春休みに、各々の学生が自ら研究室を訪問し、活動内容を把握する。3年次の5月を目途に教室から最大受け入れ人数が発表され、その後、学生が第1希望、第2希望を学年担任に提出し、限られた教室に学生が集中しないように調整が行われ、最終的な所属が決定する。したがって、学生の偏りは比較的起こりにくいが、年度によりバラツキも起こる。臨床系教室は、比較的受け入れ人数が多く、希望学生も多い傾向にある。
麻布大	おおむね適切である	学生の研究室受け入れは学生の希望と、受け入れ人数については各研究室の自主性に任せている。研究室によっては、希望者数と受け入れ可能人数が合致せず、学生が必ずしも第一希望の研究室に入室できるわけではない。
日大	おおむね適切である	研究室への入室は、原則として学生の希望を尊重して行っているが、学生数などに特段の問題点はない。

表IV-1-② 基礎系教室（研究室）の学生の臨床系教室への転向、またはその逆の転向はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	多くはないが、学生の所属研究室の移動はある。所属教室の移動は、学生の意志を尊重し、当該教室の両責任者の了承のもと実施される。ほとんどの学生がこのシステムに満足していると思われる。

北里大	無	基礎系研究室から臨床系研究室に転向させるという考え方があるが、本学部には無い。基本的に研究室専攻生は、4年次後期に配属される研究室で卒論研究を実施するが、途中で転向することは特別の理由が無い限り許されない。
日獣大	有	多くはないが、学生の所属研究室の移動はある。所属教室の移動は、学生の意志を尊重し、当該教室の責任者の了承のもと実施される。ほとんどの学生がこのシステムに満足していると思われる。
麻布大	有	年間数人以内の範囲であるが、現在までに基礎系教室（研究室）の学生の臨床系教室への転向、またはその逆の転向事例はあった。
日大	有	学生は、原則4~6年次の3年間、同じ研究室に所属するが、学生の事情によりやむを得ない場合は研究室の移動は認められている。

IV-2 学習支援体制

表IV-2-① 学生への学習支援体制が整備され、適切に運営されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	図書館をはじめ、学内授業支援システムが構築されつつある。
北里大	適切な部分が多い	講義・実習の予習・復習や試験勉強に活用できる授業支援システムが、学部ホームページ上（学内専用）に構築されており、学生が自由に閲覧できる。このシステムは、ホームページ実務委員会が管理し、各科目担当者自身が情報を掲出している。 コンピュータ実習室のパソコン（80台）を授業・実習での使用時以外は、学生に自習用として解放している。 獣医学科では、学外実習支援組織を作り、職場体験として学外の公共施設や一般動物病院等の施設における実習を希望する学生の支援をしている。 6年間の獣医学教育カリキュラムを実効のある形で運営するために、学生への学習支援体制を構築するように心懸けているが、コ

		ンピュータなどを利用した自習システムなどは教材作りから展開する必要がある。
日獣大	適切な部分が多い	本学に図書館、講義室が昨年に新築され、学生が自習できるスペースが概ね確保されるようになった。また、学内ランによって学生自らが必要とする情報を得ることができ、学生の支援を事務部並びに教員によってサポートするシステムが構築されている。しかし、全ての学生が臨床実習に関する予習、復習をするシステムは構築されていないために、今後このような点の改善が望まれている。
麻布大	おおむね適切である	昨年から大学本部に学習支援体制が整備され、運営されている。従来から行われている各研究室教育も、研究指導のみならず学習支援の一翼を担っている。
日大	おおむね適切である	各教員はオフィスアワーを設けている。その曜日、時間等はシラバスに記載し、学生に周知している。

表IV-2-② 基礎系研究生の学生が臨床系研究室の研究内容に触れる機会はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	学部ホームページ、教育群ホームページが更新される都度、新たな研究内容に触ることは可能である。また、学会、卒業論文発表等の場で知ることができる。
北里大	有	4～6 年次にかけて配分されている卒業論文の発表会は、全学生（6 年生）および教員の出席のもとで、全員が発表（プレゼンテーション）と内容に関する質疑応答を行なう形で実施されている。また、臨床セミナーや学科セミナーなどの正課外の教育への参加も可能である。 毎年 11 月末に、卒業論文発表会が 4 日間ほどある。獣医学科では全ての学年の授業を休講とし、2 年から 5 年までの学生が卒業論文発表会に参加できるような機会を与えており、臨床系研究室の研究内容のみならず、基礎系、応用系の研究室の研究内容も公開している。さらに、卒業論文要旨集は 4 年生以上は全員に 0 配

		布され、2年と3年生は希望者には配布される。
日獣大	有	動物医療センターを中心に展開している診療業務の中で得られた検査材料を病理学教室、微生物学教室などの基礎系研究室と共に、その研究室に所属する学生が教員の指導の元に臨床系研究室と共同研究している。また、卒業論文を公開して基礎系研究室の学生が臨床系研究室の研究内容を閲覧できるように配慮している。
麻布大	有	研究室間の共同研究等で基礎と臨床系研究室がともに活動する事例が増加している。大学が主催する学会（麻布学会）等で、内容に触れる機会はあるが必ずしも多いとは言えない。
日大	有	卒業論文発表会などへの参加は自由であり、研究内容に触れる機会は十分にある。また、毎月開催されている動物病院セミナーにも当然、参加して学習することができる。

表IV-2-③ 学生に対する健康診断、心的支援、生活相談等が行われていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	本学の学生課、教務課、学務課、保健センターは個々の学生支援を行なっている。また、教員は学生が研究室に所属するまでの間、学生担当アドバイザー制により、日常の学生支援を行なっている。
北里大	有	学生の健康診断結果については、保健室に常勤している看護師がシステムにより管理し、要検査等がある学生には、個別指導を行っている。 学生の心的支援に関しては、学生相談室に常勤の臨床心理士（カウンセラー）が、必要に応じクラス主任と連携を密にして行っている。 学生の生活相談には、各学年のクラス主任、学生相談室教員から成る学生指導委員会を中心にして、きめ細かい対応を行っている。
日獣大	有	学生の健康診断は、毎年実施しており、日常の健康管理は、保健室に常勤している看護師が訪れる学生の身体状態の異常にに対応し、校医とともに適切な判断または助言を与えている。学生の心

		的支援は、学生相談室に臨床心理士を置き、訪れる学生に対応しており、またクラス担任も不定期ではあるが学生の心的支援を担当している。学生の生活相談は、事務部（学生支援課）がクラス担任とともに適切な指導を行っている。
麻布大	有	すでに設置している健康管理センターが中心となって、学生に対する健康診断、心的支援、生活相談等が行われている。
日大	有	保健室、学生相談室、カウンセラー、インテーカーなどで実施している。また各学年に2名の学科教員が担任として学生からの相談・指導にあたっている。

表IV-2-④ 学生に対する就職・進学の相談、助言体制が整備され、適切に運営されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	本学の就職課は学生に適宜、求人案内を行ない、求職相談に応じている。教員は担当学生の進学相談に対応している。
北里大	おおむね適切である	学生からの就職・進学相談への対応は、各学科の就職担当教授、クラス主任および学生課職員から構成される学部就職委員会のメンバーが行っている。更に、インターネットを活用したウェブカメラにより、就職センター（全学就職支援組織）職員との個別面談も実施している。学生に対する就職・進学相談は、クラス主任が常時行える体制を取り、さらに、学生課による就職・進学相談会が実施される。獣医学科主催の職業セミナーも実施されている。
日獣大	おおむね適切である	学生に対する就職・進学相談は、事務部である学生支援課と担任が主に対応し、公務員、企業など就職先から招聘した方による就職説明会を複数回行って、学生の進路決定の支援をしている。また、進路については、学生が所属する研究室の職員や大学院生がその相談をうけることもあります、全学の教職員が対応している。
麻布大	おおむね適切	就職指導課が中心となって、学生に対する就職・進学の

	である	相談、助言体制が整備されているが、研究室単位でも就職相談等は随時行っている。
日大	おおむね適切である	就職指導委員会、就職指導課および学科教職員が連携して就職情報の周知のみならず、様々な就職活動の支援を行っている。また所属研究室の教員が就職・進学について個人的な指導および助言を行っている。

表IV-2-⑤ 学生サービスに対する学生からの意見などをくみ上げるシステムはありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	獣医学部には、授業に関する学生からの意見をくみ上げるため、アンケート回収、意見箱設置システムがある。
北里大	有	研究室に所属している学生からの意見は、当該研究室所属教員を通じてくみ上げ、それ以外の学生からの意見は、毎月開催している学生会、学生評議会および教員との懇和会（年2回）、更に、クラス主任による個別面談によりくみ上げている。
日獣大	有	学生の種々の意見は、全体を含めてクラス担任、学生部委員会が学生支援課とともにに対応し、学生の意見を吸い上げてより改善点を検討している。また、3年次以上の学生に関しては、所属する研究室内で意見を聴取し、個々に対応している。
麻布大	有	前述した学生アンケートや学内メール等で各教員や事務局に意見を述べることは自由である。
日大	有	教育面においては各教員が行う授業アンケートにより、また生活面においては大学の学生相談室や学科のインター有資格者を通して学生の意見を汲み上げている。

表IV-3. 学生受け入れに対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	授業、学生生活に対する相談窓口と指導体制は機能している。
北里大	おおむね適切である	研究室への専攻生の受け入れ、学生の就職・進学相談など、基本的には4年次後期から所属する研究室の教員と

		学年クラス主任が実施しており、低学年からきめ細やかな対応を実施している。
日獣大	おおむね適切である	3年次入室決定において、学年担任を中心に学生の意志が出来るだけ尊重されるよう配慮している。最大受け入れ人数を超えた場合は、当該教室が出来るだけ客観的な方法で受け入れ学生を決定し、入室できなかった学生は最大受け入れ人数に達していない教室から再度各自が希望教室を決定するようになっている。さらに、入室希望学生が最大受け入れ人数より1~2名程度多く当該学生の入室希望が強い場合は、学科会での承認を受けた承されている。また、学生の教室への受け入れが3年次であるため、専門教育が行われていない科目もあり入室後に移動を希望する学生もおり、それに対しても対応している。
麻布大	適切な部分が多い	研究室の居室面積や教員数の制約で、希望する学生をすべて受け入れられない研究室があり、改善が急務である。
日大	おおむね適切である	入学定員および選考方法は適切に行われているが、今後は国際化に向けて外国人留学生の受け入れを促進したい。

V. 教職員

V-1. 教員

『臨床教育組織に必要な人員は確保されているか』の問に対して、「適切な部分が多い」と回答したのが、北里大と日大であった。残りの3大学（酪農大、日獣大、麻布大）は「適切でない部分が多い」という評価であった。しかしながら、いずれの大学においても教員数は充分とは言えず、さらなる増員が期待されている（表V-1-①）。

『臨床系構成（専任、兼任、臨時、年齢、専門分野）のバランス』に関しては、4大学（酪農大：逆ピラミッド、北里大：中堅の准教授や講師の採用困難、日獣大：次世代の担う若手教員の不足、麻布大：年齢層のアンバランス）において「適切でない部分が多い」との回答であった。なお、日大では、「適切な部分が多い」との回答であり、専任教員の年齢構成、専門分野等はおおむね適切との評価であったが、教員数の充足が望まれている（表V-1-②）。

『臨床系構成で補充したい分野は、各大学の概要』は以下のとおりであった。酪農大：麻醉、画像診断内科分野（増員）、北里大：社会的ニーズあるいは学生からの要望の多い専門領域、日獣大：専門性の高い外科手術領域、麻布大：救急獣医療分野、日大：産業動物臨床分野、動物行動学分野、エキゾチックアニマル学分野（表V-1-③）。

『臨床教育の目標を達成するための、臨床系教員の教育担当時間配分』に関して、酪農大、日獣大そして麻布大では「適切でない部分が多い」と回答し、診療業務との兼ね合いから過重になっているとの評価がなされた。また、北里大では、「適切な部分が多い」としながらも、教育担当教員の充足が望まれている。なお、日大では、「おおむね適切である」との回答であり、授業時間割や年次配当の検討・調整が教員間で行われている（表V-1-④）。

V-2. 教員への支援体制

『臨床系教員の採用・昇任に関する基準』は、各大学が以下のとおりそれぞれ有している。酪農大：採用基準（大学）・内部昇格基準（獣医学部）、北里大：採用と昇格人事に関する資格基準（獣医学部）、日獣大：大学院教員資格審査基準、麻布大：採用と昇格に関する資格基準（基礎系と臨床系に大差なし）、日大：採用基準（基礎、応用系同様）・昇格（臨床経験条件）（表V-2-①）。

『臨床系教員の研究活動を支援するためにTA等』は、各大学でほぼ適切に活用されているが、大学院生が不在の研究室での対応（北里大）や臨床系研究室にお

ける大学院生数の少なさ（麻布大）が今後の課題として指摘されている（表V-2-②）。

『研究教育目的を達するための研究教育費』は、日大では「おおむね適切である」、酪農大、北里大そして麻布大では「適切な部分が多い」と回答し、一定の評価がなされていた。しかし、日獣大では、実習内容または研究内容を加味された配分ではないため、「適切でない部分が多い」との回答であった（表V-2-③）。

『研究教育活動の向上のためのFD等の取り組み』は、各大学において、FD委員会や評価委員会による講習会等の活動が実施されているが、臨床教育に特化したものではなく、学部全体としての活動となっている（表V-2-④）。

『臨床系教員の研究教育活動を活性化するための評価体制』については、日大が「おおむね適切である」、北里大が「適切な部分が多い」の回答であった。しかし、酪農大、日獣大と麻布大では「適切でない部分が多い」との回答であった（酪農大：臨床教員の評価体制がない、日獣大：特に臨床系教員に対する配慮はない、麻布大：研究業績のみならず診療技量の評価が重要である）（表V-2-⑤）。

V-3. 職員

『動物病院に必要職員の確保と適正配置』について、北里大は「おおむね適切である」との回答であったが、残る4大学はいずれも、スタッフの絶対数の不足を指摘している（表V-3-①）。

『動物病院の職員の採用・昇任・異動の方針の明確化と適切な運用』に関しては、北里大、麻布大そして日大で「おおむね適切である」との回答であった。一方、酪農大と日獣大では、一部職員が業務委託契約であること（酪農大）、新設センターに伴い新規採用を要求してきたが中々実現しないこと（日獣大）が指摘された（表V-3-②）。

『職員の資質の向上のための研究』は、酪農大を除く4大学で実施されており、一定の成果が評価されている（表V-3-③）。

『動物病院の運営のための事務体制の構築とその適切な機能』に関して、5大学間での回答に開きが認められたが、いずれの大学においてもスタッフの増員をとおしてのさらなる体制強化と充実が望まれている（表V-3-④）。

V-4. 教職員に対する自己点検・評価をしてください

各大学間において、評価に幅はあるものの教職員の適切な補充、FDや職員研修の活性化、活動内容の適切な報告・評価のさらなる充実を目指している（表V-4）。

V—1 教員

表V-1-① 臨床教育組織に必要な人員は確保されているか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切でない部分が多い	現在、伴侶動物医療教育群では十分に確保されていない。新カリキュラムを執行しなければならない、3年後まで増員がなされるか、不透明である。
北里大	適切な部分が多い	臨床教育組織としては臨床系教員枠は23名あり、これは臨床教育・研究・診療を実施する上で十分な数であると理解している。しかし、現在も欠員が4名程あり、これが問題点である。更に、教員の教育・研究・診療をサポートするTA数、RA数並びに研修医の数は多いとは言えない。
日獣大	適切でない部分が多い	獣医学科では、臨床教育組織として臨床系教員が19名と動物医療センター専任助手4名おり、動物医療センター内における診療体系でみると内科系教員10名、外科系教員9名となっている。一方、獣医保健看護学科では、臨床部門教員は5名であり、動物医療センターでの診療体系では全員が内科系診療科に属している。獣医学科の新カリキュラムでは、臨床教育に関する授業科目(選択科目も含む)が専門教育に対応するよう細分化され、授業数も増加している。また、斉一教育である獣医総合実習の実施に伴い、動物医療センターでは年間を通して実習学生の臨床教育を行わなくてはならず、現在の教員数で十分な臨床教育・研究および診療を行えるとは言えない。これに加え、夏期休暇中などの産業動物臨床実習の実施などがあり負担が多いものとと考えられる。獣医保健看護学科においても、外科系教員が不在であることなど、臨床教育研究を行ううえで十分な人員とは言えず、獣医学科教員の協力を得て臨床教育を実施している。
麻布大	適切でない部分が多い	特に臨床実習では、学生数と教員数の比率を考慮すると、絶対的に不足している。

日大	適切な部分が多い	臨床系教員は5研究室に22名配属されているが、臨床教育の充実のためにはさらなる増員が望まれる。
----	----------	---

表V-1-② 臨床系構成（専任、兼任、臨時、年齢、専門分野）のバランスはとっていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切でない部分が多い	年齢は逆ピラミット構成が懸念される。
北里大	適切でない部分が多い	臨床系教員の構成の特徴として、中堅教員が他大学へ流動し、それによる年齢層のアンバランスが生じている。特に、中堅の准教授や講師の採用が難しい状況があり、新任教員は若い年齢層になりがちである。また、専門性についてもバランス良く採用する必要があるが、教員候補者を探すことが難しい状況では、専門性については二の次となっている状況である。
日獣大	適切でない部分が多い	獣医学科における臨床系教員の構成をみると、教授5名、准教授6名、講師5名および助教3名であり、次世代を担う若手教員の不足が明らかである。臨床系においては、教育研究だけが教員に求められる要素ではなく、高い臨床応用力すなわち診療技術が必要とされる。診療能力に関しては、高い診療技術を有する施設での臨床経験が重要であり、若手教員を育てる施設として動物医療センターがその核になるものと考える。したがって、臨床系教員の育成には若い年齢層の教員を大学が育てていく必要がある。専門性については、より高度な獣医療が要求されており、十分な専門知識と実践能力を兼ね備えた人材が各診療分野で望まれている。しかし本学では、内科系および外科系において未だ要求に対応できない診療分野もあり、早急な人材確保が必要である。
麻布大	適切でない部分が多い	昭和20年代から30年代前半生まれの教員数が多く、年齢層にアンバランスが生じている。近数年でこれら

		の世代の教員が定年を迎えるにあたり、年齢層の是正と教員候補の育成が急務である。
日大	適切な部分が多い	専任教員の年齢構成、専門分野等はおおむね適切であるが、教員数の充足を図りたい。

表V-1-③ 臨床系構成で補充したい分野はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	伴侶動物医療教育群では、麻酔、画像、内科分野の増員が求められている。
北里大	有	臨床系専門分野を全て揃えることは不可能であるが、近年、社会的ニーズや学生から要望の多い専門領域については今後増やしたいと考えている。しかし、専門性を持つ教員が少ない現状では、大学で育てていくという発想が必要であると理解しており、これに関する将来構想を喫緊の課題であると理解している。
日獣大	有	専門分野で不足している診療科もあり、補充が必要である。特に、専門性の高い外科手術領域においては、そのスペシャリストの養成が望まれる。さらに、獣医総合臨床での動物医療センターを利用した臨床実習にあたり、臨床系教員のみでは細部にわたる学生指導・教育が十分行う時間がとれないため、専任助手を4名採用した。しかし、実際には獣医学科学生の約20名に加え、獣医保健看護学科の臨床実習学生約25名が常時参加しているため、両学科の臨床系教員および専任助手だけでは期待する教育効果を得ることは困難である。したがって、さらなる臨床系教員および助手の確保が望まれる。臨床系教員の確保にあたっては、専門知識だけでなく高い臨床実践能力も重要である。二次診療施設である動物医療センターにおいては、紹介症例を再度総合評価できる一般臨床能力を兼ね備えた上で専門診療にあたる必要がある。そのためには、外部からの人材確保に頼るだけでなく、若い年齢層の教員を確保し大学で育てていくことが必要である。このことが、本学として特徴のある臨床教育研究および診療を継承・発展させていくことにつながると考えられる。
麻布大	有	多々あるが、獣医臨床教育のグローバルスタンダードを考慮する

		と、本学では救急獣医療分野の実習教育設備・教員・システムの補充が急務であると考える。
日大	有	産業動物臨床分野の他、動物行動学、エキゾチックアニマル学などの分野においても今後充実を図りたい。

表V-1-④ 臨床教育の目標を達成するための、臨床系教員の教育担当時間配分は適切ですか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切でない部分が多い	附属動物病院業務を兼ねることから、授業準備時間が不足している。
北里大	適切な部分が多い	新カリキュラムを実施するにあたり、教育担当教員の充足が望まれる。
日獣大	適切でない部分が多い	新カリキュラムでは、専門性を出した授業科目を増加したため、臨床系教員が担当する必須および選択必須授業が25科目であり、この他各教室担当の実習がある。さらに、獣医総合実習における動物医療センターでの臨床実習が加わるため、臨床系教員の教育担当時間が増加している。獣医総合実習では、動物医療センターで診療をしながら教育・指導を行わなければならず、通常診療に比較し多くの時間を費やす必要があるとともに、単純な時間では評価できない負担増となっている。したがって、臨床教育担当教員の充足が強く望まれる。
麻布大	適切でない部分が多い	臨床系教員は、教育以外に診療の義務を負っていることを考慮すれば、基礎系教員に比較し教育担当配分時間は過重であると思われる。
日大	おおむね適切である	授業時間割および年次配当が適正になるよう毎年、学科内において検討し、教員間での調整も行っている。

V-2. 教員への支援体制

表V-2-① 臨床系教員の採用・昇任への基準はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	本学が採用基準を設置している。その他、獣医学部には教授の内部昇格規定がある。
北里大	有	本学では、「獣医学部教員選考に関する申し合わせ事項」と「獣医学科教員資格基準」の、2つの内規があり、獣医学科教員資格基準には、「臨床系等の教員候補者にあっては、教育経験、研究活動、臨床能力、臨床経験、社会的経験も加味して審査を行うものとする。その場合、上述の原則とは、研究業績について10%減までをもって審査対象とすることができます。」となっている。この資格基準は、採用並びに昇任人事に対して用いられる。
日獣大	有	本学の獣医学科では、大学院生命科学研究科獣医学専攻の教員資格審査基準によって臨床系教員を含む獣医学科の専任教員の採用並びに昇任の基準としている。
麻布大	有	獣医学部教員の採用・昇任の評価基準はあるが、基礎系と臨床系の区別に大差はない。臨床系教員には附属病院における診療の義務が負荷されており、研究業績のみならず診療業績を加味した基礎系教員とは異なる採用・昇任の評価基準を新たに設置する必要があると考える。
日大	有	採用基準は基礎、応用系教員と同様であるが、さらに臨床経験を重視している。昇格に際しても臨床経験が条件となっている。

表V-2-② 臨床系教員の研究教育活動を支援するために TA (Teaching Assistant) 等が適切に活用されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	大学院獣医学研究科学生のTA機能が活用されている。
北里大	適切な部分が多い	TA並びにRAによる教育・研究支援活動のシステムがあり、研究室に大学院生が所属している場合は有効に機能している。しかし、大学院生が不在の研究室では、建て前上は他の研究室の大学院生を依頼すること

		も可能であるが、現状では難しい場合が多い。
日獣大	おおむね適切である	臨床系教員の診療活動に対するTAの支援は、彼らの大学院における研究テーマに沿って行われている。一方、臨床教育全般にTAが関わっており、教員の研究と教育活動がスムーズに進んでいる。
麻布大	適切な部分が多い	本学においてTAとして採用できるのは、主に大学院生である。すでに臨床実習において大学院生をTAとして採用し、実習の補助に活用している。しかし、臨床系研究室の大学院生の数は少なく、今後は附属病院の研修獣医師もTAとして採用できるように規則を改正する必要があるのではないかと考えている。
日大	おおむね適切である	TAを希望する大学院生は臨床系にも多く、適切に活用されている。

表V-2-③ 研究教育目的を達成するための研究教育費が適切に配分されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	本学には研究支援のための制度がある。獣医学部の予算は指導担当学生数により配分される。
北里大	適切な部分が多い	既に、前述したように、教育研究費は教育委員会において適切に配分されている。
日獣大	適切でない部分が多い	研究・教育費は、講義、実習の単位および研究室における教員の構成を基準に配分されており、実習の内容または経費の多少や研究内容を加味されて配分ではないのけっして適切とは言えない。
麻布大	適切な部分が多い	教員一人当たりの個人研究費は、基礎・臨床を問わず均等に配分されている。しかし、その金額については、増額の必要があるものと思われる。
日大	おおむね適切である	定額研究費が全教員に対して等分に配分されており、学生教育費は単位数、研究室所属学生数に応じて配分されている。

表V-2-④ 研究教育活動の向上のためにFD等の取り組みが適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	本学はもとより、獣医学部にもFD推進委員会があり、年次計画を中心に教員の資質向上を図るための研修を行なっている。
北里大	適切な部分が多い	学部の自己点検・評価委員会において毎年2回程度FD教育が実施されているが、臨床教育に特化したプログラムは今のところ無い。
日獣大	適切な部分が多い	大学単位でFD教育は実施されているが、臨床教育に特化したものではない。
麻布大	適切な部分が多い	本学では、数年前からFD委員会が設置され積極的な取り組みがなされているが、実行の段階ではさらに検討の余地は残されていると思われる。
日大	おおむね適切である	大学主催のFD講習会を年2回実施している。

表V-2-⑤ 臨床系教員の研究教育活動を活性化するための評価体制が整備され、適切に運用されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切でない部分が多い	特に、臨床教員を評価するための体制はない。本学には、全教員を対象に学術研究報告体制が構築され、内部昇格の基準になっている。
北里大	適切な部分が多い	北里大学には教員多元的業績評価のシステムがあり、臨床系教員（診療担当教員）に対する項目などが準備されている。この制度は、任期制にリンクする評価でもあり、ポジティブには昇任人事などにリンクしており、これが研究・教育・診療のモチベーションを高める評価体制となればと期待している。3年間（平成17～19年度）の試行期間を経て、平成20年度より本格評価が始まっている。
日獣大	適切でない部分	本学では、大学院における教員評価基準はあるが、特に

	分が多い	臨床系教員に対する配慮はなされていない。その主旨は、臨床活動の評価が困難なこと、大学院の指導教員としての業績を基礎系または応用系教員と同格に扱うことが大学院研究科の中で合意されていることから、臨床系教員に対する配慮は無いのが現状である。
麻布大	適切でない部分が多い	臨床系教員には、研究業績のみならず診療技量の評価が重要である。しかし、本学の評価体制は、前述したとおり特に診療業績の評価が軽視される傾向にある。この点については、臨床系教員評価基準の抜本的な見直しが必要であると考える。
日大	おおむね適切である	学部と動物病院運営委員会により適切に運用されている。

V-3. 職員

表V-3-① 動物病院に必要な職員が確保され、適切に配置されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切でない部分が多い	病院担当教員、スタッフともに不足が慢性化している。
北里大	おおむね適切である	日常の病院業務遂行状況からみると、診療数や収入額など、現在の運営規模に見合った職員の確保は、概ねなされていると考える。しかし、サービスを充分に提供しうるために必要な職員という点では、診療支援者が若干不足していると言える。また、本来、配置が望ましいとされる薬剤師やレントゲン技師の確保についても、将来に向けて検討していきたい。
日獣大	適切でない部分が多い	今日、社会的背景から獣医系大学の付属動物診療施設は、ヒトのセンター病院と同様に二次診療施設としての機能が必須となっている。診療を担当する獣医師以外に動物看護師、薬剤師、検査技師、受付担当者などの整備は病院の規模に比例して充実すべきである。しかし、本学の動物医療センターの職員数は、日常の責務をこなすためには不十分であり、今後、重点的に整備すべきもの

		である。
麻布大	適切でない部分が多い	本学では、2年前から行われている附属動物病院改革により、特任教員の導入など人員を増員している。しかし、専門分野が高度化し多岐に亘る現在、科別診療で主治医となる教員数は今なお絶対的に不足している。さらに、薬剤師・動物看護師・事務職員等の診療支援人員もきわめて不足している現状である。
日大	適切でない部分が多い	職員の増員および職務分担や責任体制の明確化が望まれる。

表V-3-② 動物病院の職員の採用・昇任・異動の方針が明確にされ、適切に運用されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切でない部分が多い	一部職員は業務委託契約されている。
北里大	おおむね適切である	職員の採用については、毎年度策定する人員計画にもとづき行っている。昇任については、「専任職員昇任・昇格基準」を規定し、法人全体として運用している。
日獣大	適切でない部分が多い	本学の付属動物医療センターは、新設されてから5年が経過した。その間に二次診療施設としての役割の重要性が高まり、必要に応じて法人全体の人事として職員の新規採用を要求しているが中々充足されないのが現状である。昇任、異動については、法人の規定によって運用されている。
麻布大	おおむね適切である	職員採用・昇任・異動の方針は明確化されているが、病院側の意向が必ずしも反映されているわけではない。
日大	おおむね適切である	学部の規程に従い、適切に運用されている。

表V-3-③ 職員の資質向上のための研修（SDなど）の取り組みが適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切でない部分が多い	行なわれていない。
北里大	おおむね適切である	法人全体の取り組みとして、SD講演会、事務職員階層別研修等を開催し、職員の資質向上に努めている。
日獣大	適切な部分が多い	教員については、平成19年度より、FD委員会が設置され、その中で授業評価、教育方法等の取り組みが行われている。事務職員については、SDの研修の一環として、テーマ毎にプロジェクトチームを編成し、収支改善等の問題点について検討をし、その検討した結果を定期的に大学及び法人の上層部に報告をしている。なお、コメディカルスタッフ（薬剤技術員、検査技術員、動物看護師）は、具体的な研修の取り組みは行われていない。
麻布大	適切な部分が多い	積極的に病院職員の研修参加を推奨している。
日大	おおむね適切である	大学で実施している。

表V-3-④ 動物病院の運営のための事務体制が構築され、適切に機能していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	専任の事務課長が設けられている。なお、事務職員（臨時職員）は伴侶動物部門で5人、生産動物部門で1人の構成となっている。
北里大	おおむね適切である	新小動物診療センターが開設し、病院規模の拡大に伴う事務処理量の増大に対応するため、会計処理システムを導入し、また、臨時職員を増員するなどして、適正に運営できるように新しい事務体制を構築中である。
日獣大	適切でない部分が多い	動物医療センターの事務体制は4人（内パート職員2名）であり、人員構成は平成16年度より変わっていな

		い。業務としては、受付業務（初再診受付、カルテの搬入・整理、会計精算、電話診療予約等）、物品管理（購入手続、在庫管理等）、院内の会議運営事務等となっている。特に窓口業務については、現状の人員構成では休暇等は1名しか取れず、2名（1名病気等で突発）休みが発生すると、昼休も取れない状況となる。また、現状の人員構成ではルーチン業務を遂行するのが精一杯で、管理運営（経営分析等）まで充分な体制が図れないのが現状である。
麻布大	適切な部分が多い	病院事務室には正規職員2名と派遣職員4～5名が所属し、病院運営のための事務体制は構築されているが、前述したとおり人員数については増員の必要がある。
日大	適切でない部分が多い	さらなる人員の確保など事務体制の強化を図る必要がある。

表V-4. 教職員に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	適切でない部分が多い	附属動物病院教職員には業務が過重負担されている。サービス労働は適切に評価されていない。
北里大	適切な部分が多い	教員の異動に伴い診療担当教員に欠員が出ていることから、診療体制への影響を考慮し、ローテーションを変えるなど、当番の見直しをして対応しているものの、早期の補充が必要となっている。また、病院日常業務へのモチベーションを高めるために、動物病院におけるFD並びにSDの実施を検討したい。
日獣大	適切な部分が多い	動物医療センター専任助手を採用したものの、教員の退職により、診療担当教員各人への負担は未だ多い。
麻布大	適切な部分が多い	自己点検・評価については、研究業績等の報告を含め適切に行われているが、更なる改善の必要があると思われる。
日大	おおむね適切である	自己点検・評価は、毎年、大学で実施しており、さらなる教育研究活動の向上に反映するよう努力している。

VI. 管理運営

- 1) 動物病院における運営管理体制の整備と配置（表VI-1）については、5大学ともほぼ適切になされているが、北里大では新病院の開設に伴う管理運営方法の見直しを提起している。また日獣大では管理職の仕事の集中に対する管理委議について検討している。
- 2) 動物病院における管理部門と教育部門の連携（表VI-2）は日獣大以外、おおむね適切になされている。日獣大では管理者の繁忙により管理体制の連携が図られていない。
- 3) 臨床系教員の、動物病院内の教育研究指導への配慮（表VI-3）は5大学ともおおむね適切になされている。
- 4) 臨床研修と教育を両立させるための配慮（表VI-4）については、5大学ともほぼ適切になされているが、診療時間の多いことに対する教育面への配慮不足（酪農代）や症例数の少ない（北里大）ことから研修と教育の充分な両立の困難も指摘されている。
- 5) 動物病院運営の危機管理体制（表VI-5）に関しては酪農大、麻布大、日大ではほぼ整備されているが、北里大および日獣大で病院独自の管理マニュアルが構築されていない。
- 6) 管理運営体制に対する自己点検・評価（表VI-6）では、改善を要する点も見受けられるものの、5大学ともほぼ適切に行われている。

VI. 管理運営

表VI-1 動物病院における運営管理体制が整備され、適切に配置されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	動物病院長、事務課長の責任体制がある。
北里大	適切な部分が多い	新小動物診療センターが開設され、病院規模が拡大したことにより、新たな機器の導入や設備の拡充がなされ、病院内の診療に関わる各部屋の配置も大きく変更した。このため、新病院での業務が適正かつ円滑に運用されるように、現在、新病院内の管理運営方法の見直しを行っている。
日獣大	適切な部分が多い	動物医療センターの管理運営体制は、院長、副院長2名、内科系診療科長1名、外科系診療科長1名、事務室長1名の計5名で配置されているが、コメディカル（薬剤科、検査室、動物看護師）部門の管理が院長に集中している為、今後、副院長以下にどのような形で委譲するのかが課題となる。
麻布大	おおむね適切である	本学附属動物病院の管理運営は、病院長・学部長・学科長をはじめに臨床系以外の教員等で構成される動物病院運営委員会を中心に、その下部組織として小動物診療部・産業動物診療部・検査部・研究部・教育部等の部門会議で意思決定され、民主的な運営管理体制が整備され、適切に運営されている。
日大	おおむね適切である	動物病院運営委員会および動物病院長などを構成要員とする施設長会議などを通して学部との協議がなされている。

表VI-2. 動物病院における管理部門と教育部門の連携が適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	日常、連携を密に教育、診療活動を行っている。
北里大	おおむね適切である	特別問題になるような事例に遭遇していないので、おおむね適切であると考えられる。定期的に開催される動物病院会議において、臨床系教員および病院長並びに事務部門とが、病院運営についてだけではなく、カリキュラムに則った病院実習の実施計画など、臨床教育に関わる部分についても、意見を交換しながら進めている。
日獣大	適切でない部分が多い	動物医療センターでは、定期的に院内会議を開催し、管理部門と教育部門の連携を図っているが、管理部門の院長、副院長が教員の為、教育、診療等が繁忙により、充分な管理体制が図れないのが現状である。
麻布大	おおむね適切である	前述したとおり、病院の管理部門と獣医学臨床系や基礎系等の教育部門との連携はなされており、おおむね適切であると思われる。
日大	おおむね適切である	管理部門である学部の施設事務課と教育部門である学科が連携している。

表VI-3. 臨床系教員の、動物病院内での教育研究指導への配慮は適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	当然である。
北里大	おおむね適切である	臨床系研究室専攻学生は、病院の当番日に担当教員と診療にあたり、また 5 学年の学生は全員ポリクリによって、小動物・大動物診療の実際を経験し、教育研究指導がなされる。
日獣大	おおむね適切である	臨床系教員の診療活動を通して、臨床系教室に所属する学生の研究面での展開が教員指導型で行われ、臨床教育

		の重要な単位として5年次後期から6年次前期にかけての付属動物医療センターでのラウンド実習が臨床系全教員のもとで機能的に進んでいる。ただ、産業動物に関する臨床教育は、外部の団体等に依頼して本学の臨床系教員が共に参加する形の現場教育を行っている。
麻布大	おおむね適切である	附属病院内に教育部を設け、獣医学部学生のみならず研修獣医師教育にも積極的に取り組んでいる。
日大	おおむね適切である	診療体制や病院内の機器の適切な使用など様々な配慮がなされている。

表VI-4. 臨床研修と教育を両立させるための配慮は充分されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	診療行為が多いため、授業準備時間にたいする配慮は不十分と思われる。
北里大	適切な部分が多い	臨床研修と教育を両立させる為には、現在よりはより多くの症例を必要とし、今後の課題とされる。
日獣大	おおむね適切である	本学は、10年ほど前から卒後臨床研修制度を設けて、現在、3年研修（各々の年度に6名ずつ採用）が行われている。もちろん、臨床研修獣医師は、ライセンスを有する獣医師であり、学部学生に対する臨床獣医学教育と両立がなされている。
麻布大	適切な部分が多い	研修獣医師対象の教育プログラムを数年ごとに更新し、臨床研修と教育を両立させる配慮はなされている。
日大	おおむね適切である	臨床研修と教育の両立が図れるような診療体制を構築している。

表VI-5. 動物病院運営にあたり、危機管理体制は整っていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	整備されてい る部分が多い	火災、震災等の対応は本学管理課とともに体制を構築している。感染症については専門委員会、学生課、医療相談室と連携して対処する体制がある。
北里大	整備されてい	教職員は、各々が危機管理の認識を持って日常業務に当

	ない部分が多い	たっているが、それらに関する標準化された病院の規程やマニュアルは、まだ整備されるには至っていない。とくに今後、動物医療においても医療過誤や、さまざまな医療問題が考えられるため、適切な対応法を検討する必要がある。
日獣大	整備されていない部分が多い	付属動物医療センターに勤務する教職員の獣医療事故に対する危機管理体制はほとんど整備されていない。ただ、現在において獣医師賠償保険に医療センターに勤務する教職員、臨床研修獣医師が加入していることからある程度保証されているが、今日問題となる獣医療過誤が発生した場合のマニュアルまたは規定の整備は成されていない。近い将来、その点の整備が必須であろう。
麻布大	整備されている部分が多い	本学では、危機管理マニュアルを制定し不慮の事態に備えているが、病院の細部（入院症例の避難等）については更なる検討が必要であると思われる。
日大	整備されている部分が多い	危機管理マニュアルを作成し、活用しているが、さらなる充実と周知徹底を図りたい。

表VI-6 管理運営体制に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い。	ハードの保守点検は外部委託を行ない、ソフト面では本学の学生課を中心に行なっている。しかし、学生に動物由来感染症が散見される。
北里大	適切な部分が多い	日常診療業務等の運営については、漸次、改善を進めており、管理運営体制は良好と思われる。しかし、危険物管理および近年頻発している自然災害や人的災害など、非常時に対応しうる管理体制については、いまだ整備されていない部分も多く、十分であるとはいえない。今後の課題としたい。
日獣大	おおむね適切である	日常の診療業務に対して細心の配慮を図っており、教職員、臨床研修獣医師並びに臨床教育を受ける学生等に対してそれぞれの役割を周知して管理体制を整備している。

麻布大	適切な部分が多い	病院の管理運営体制については適切な部分が多いと自己評価するが、教員の診療業務については診断・治療法等について適正に行われているか否かのチェック機構を設ける必要があると思われる。
日大	適切な部分が多い	動物病院運営委員会、学部事務局、学科教員の連携を充実・強化するために、職務分担による業務の簡素化、効率化を図り、担当者間の相互協力を推進する。

VII. 財務

- 1) 動物病院における必要経費の確保、および収入と支出のバランス（表VII-1）においては5大学ともほぼ適切に運営されている。
- 2) 動物病院の会計（表VII-2）は5大学ともほぼ適切に処理されている。病院および他の機関による監査が酪農大、日獣大、日大で行われている。北里大では会計処理の効率化と未収金の回収および予防の取り組みを検討している。
- 3) 動物病院の財務情報の公開（表VII-3）は北里大以外ほぼ適切に行われている。北里大では動物病院単体の財務状況の把握と情報公開が行われていない。
- 4) 外部資金の導入（委託事業、収益事業など）（表VII-4）については、5大学とも積極的な取り組みがなされている。
- 5) 管理運営体制に対する自己点検・評価（表VII-5）は5大学ともほぼ適切に行われているが、いくつかの問題点を抽出している。北里大では病院収益の目標数値の設定と差異に関する原因究明が不十分であるし、日獣大では人員不足による管理運営体制の不適切な点を指摘している。

表VII-1 動物病院に必要な経費が確保され、かつ収入と支出のバランスが配慮されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	二次診療に起因する支出超過に関し、収支バランスを求められているが、教育病院としての運営の性格上はやむを得ない。
北里大	おおむね適切である	病院経費のうち、学部負担の部分をいくつか残してはいるものの、基本的には動物病院の独立採算を目指しており、例年、収入予測に見合った支出予算を組んで運営している。今年は新小動物診療センターを開設し、収入額について3割増の予算を組んだが、規模を拡大した分、一方で機器・備品購入や人件費などの経費増も見込まれるため、最終的な収支の予測がなかなか難しい状況下にある。
日獣大	適切な部分が多い	動物医療センターにおいては、毎年、人件費、管理費、医療経費（薬品費、材料費）、機器購入費と分けて収入と支出のバランスを考慮した予算の編成をしている。平成19年度において、人件費、管理費、医療経費（薬品費、材料費）、機器購入費の支出は、予算より下回っている。
麻布大	適切な部分が多い	適切な部分が多いが、高度医療機器の購入や維持管理などについては、特別予算措置が必要であると思われる。
日大	おおむね適切である	必要な経費は確保されており、収支バランスのとれた運営がなされている。

表VII-2. 動物病院の会計処理は適正になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	病院窓口が現金処理を行ない、課長が金銭を管理している。本学財務課が収支チェックを行なっている。
北里大	おおむね適切である	会計処理は適切になされているが、今後はシステムを導入し、正確性並びに迅速性のアップを図ることにより、顧客へのサービス向上に寄与したい。また、積年の課題となっている未収金を減らすための回収および予防の

		ための方策を検討している。
日獣大	おおむね適切である	診療収入については、受け入れた現金、カード払い、振込は、病院会計窓口と大学の出納室で入金点検（二重チェック）を行っている。また、年2回の公認会計士による会計監査が実施されている。
麻布大	適切な部分が多い	病院事務室において適切におこなわれている。しかし、病院事務に精通した専門職員の導入が要望される。
日大	おおむね適切である	学部会計課との連携の下、適切な処理がなされている。

表VII-3. 動物病院の財務情報の公開が適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	収支、施設保管状況は学長、理事長に適宜報告されている。また、附属病院運営協議会において執行状況が協議されている。
北里大	適切でない部分が多い	動物病院の支出（経費）については、現在、学部経費と切り分けて計上していない科目が多くあるため、動物病院単体としての財務状況は公開していない。
日獣大	おおむね適切である	動物医療センターの財務情報の公開は定期的に本学教授会及び法人役員に報告している。その内容は、消費収支計算書の大項目の前年比較、予算比較の概要を表示し、また、収入及び収支差額については、グラフ化している
麻布大	おおむね適切である	病院の各委員会・獣医学部教授会・大学評議会で、ほぼ毎月報告している。
日大	おおむね適切である	大学により実施されている。

表VII-4. 外部資金の導入（委託事業・収益事業など）の努力はされていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	経営陣による教員評価があり、また研究意欲が旺盛な教員による努力はなされている。

北里大	有	動物病院を利用した委託事業が行われており、また外部資金導入を積極的に行うことを病院会議などで推奨している。
日獣大	有	動物病院で研究受託事業の受け入れや検査等の外部からの依頼を受ける取り決めをしている。
麻布大	有	供試試験や受託研究の受け入れおよび病院の施設やスタッフで行われる開業獣医師対象の卒後教育の実施など、診療収入以外の資金導入に積極的に取り組んでいる。
日大	有	委託事業や助成研究費など、さらなる外部資金の導入に向けて努力している。

表VII-5. 運営管理体制に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	施設、診療行為、事務処理、外回り、警備等の監理体制は附属動物病院長、事務課長を中心に構築されている。
北里大	適切な部分が多い	動物病院は学部の収益部門として、財務状況に関しては常時、収入と支出に目配りをし、毎月の報告書によって詳細に確認が行われている。しかし、収益部門であると同時に教育病院でもあることから、目標とする数値設定の根拠が難しく、勢い、結果に対する原因究明も不充分になりがちである。
日獣大	適切な部分が多い	動物医療センターの管理運営体制については、同センター内の会議を経て、動物医療センター運営委員会で同センター細則に定められいる事項①診療体制の整備②動物医療の安全管理及び事故防止③動物医療の倫理④薬品・材料の選定及び診療機器の整備⑤検査診断サービス⑥高度医療研究⑦卒後研修の受け入れ⑧地域医療サービス・広報⑨その他、動物医療センターに関する事を審議されることになっている。以上のように、大まかな管理運営規則は整備されているが、管理運営をサポートする事務体制の人員不足、管理スタッフの院長、副院長が教員の為、診療、教育等が繁忙により、管理運営体制が機能されていない部分が多い。今後は、管理運営に関わる

		メンバーの増員を図る方策を考えて行かなければなら ないと思われる。
麻布大	適切な部分が 多い	病院の管理運営体制については適切な部分が多いと自 己評価するが、教員の診療業務については診断・治療法 等について適正に行われているか否かのチェック機構 を設ける必要があると思われる。
日大	おおむね適切 である	教職員の理解と協力の下に、バランスのとれた管理運営 体制を構築している。

VIII. 研究教育環境

臨床教育の充実には研究教育環境の整備が不可欠であり、5大学ともに過去10年間、カリキュラム改革と同時に付属動物病院の新設による教育環境整備を実施した。その成果は、5大学で診療頭数の増加などの絶対的数値として現れている。しかし、私学には教員数と学生数比の宿命的な問題があり、今後、研究教育環境も現状に満足せず、国際水準を目指した環境改善を推進したい。

5大学では研究教育環境として動物病院が整備され、かつ有効に活用されている。酪農大は平成16年、北里大は平成20年、日獣大は平成15年、麻布大は平成11年、日大は平成17年に付属動物病院がそれぞれ新築され、病院面積、先端医療機器、教育研究環境が整備・充実した（表VIII-1）。

5大学では研究教育活動の目的を達成するために、それぞれの施設設備の為に維持費等が配置され、適切に維持・運営されている。評価は概ね適切である（表VIII-2）。

動物病院の施設設備の安全性については、セキュリティ、耐震性、防火性、放射線障害の予防措置、薬品管理等の点について5大学何れも概ね適切に確保している（表VIII-3）。

5大学はそれぞれの設置環境と背景を持ち、研究教育環境の充実と整備に自助努力を重ねており、自己点検・評価により、それぞれの利点と欠点を理解して、将来構想を検討している（表VIII-4）。

表VIII-1. 研究教育環境として、動物病院は整備され、かつ有効に活用されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	平成 16 年度に新病院棟が完成して以来、全国一を誇る診療頭数を確保している。特に、生産動物診療頭数は他大学の追随を許さない。
北里大	おおむね適切である	小動物診療センターの増改築に伴い学生教育により有効に活用されている。また、病院施設および設備を利用して卒業論文研究などが実施されている
日獣大	おおむね適切である	付属動物医療センターの新築が 5 年前に行われ、臨床教育の場として整備されてきた。また、付属牧場を含んで、ハイテクリサーチセンターを構築し、とくに医療センターの外来症例から得られた材料をもとに高度な教育、研究を展開する場として充実を図っている。その成果は、本学の獣医学科教員や大学院学生などが学会発表を行い、評価の高い学術誌に多くが掲載され実績として公表されている。
麻布大	適切な部分が多い	病院でラウンド実習を行う学生数（一日 30~40 名）を考慮すると学生の自習室や休憩室を含め手術室や処置室等すべての面積が不足している。病院の拡充が要望される。
日大	おおむね適切である	最新あるいは先端的機器の整備が進み、豊富な症例と相俟って研究教育環境は充実している。

表VIII-2. 研究教育活動の目的を達成するための施設設備が適切に維持・運営されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	現状から施設運営維持費はマイナスシーリングであるが、研究教育活動には大きな支障はない。
北里大	おおむね適切である	設備は定期的な保守点検を実施して常に整備された状況である。また、施設整備の利用に際しては利用申請を行い、その内容が関係者全員に案内されることで利用状

		況などを把握することができている。
日獣大	おおむね適切である	本学にはハイテクリサーチを行うための研究施設が完備され、大学院生、学部学生が教員の指導の元にそれらの施設を有效地に活用しており、大学全体の研究教育活動のために維持・管理並びに運営がスムースに行われている。
麻布大	適切な部分が多い	診療機器については研究教育環境として整備され有效地に維持・管理されている。施設については、前述したとおり面積的に不足している。
日大	おおむね適切である	臨床教員および研修医等から成る診療部会などを通じて、施設設備の適切な維持・運営に努めている。

表VIII-3. 動物病院の施設設備の安全性は確保されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	24時間、民間契約業者による警備体制が確保されている。外部不法侵入者に対するセキュリティも行なっている。
北里大	おおむね適切である	動物病院の建物は建築基準に則って建設されており、耐震構造についても認可を得ている。防火・防災についても消防署から定期的に防火用設備点検を受け、合格している。また、放射線関連施設は関係法令に基づき、X線漏洩による放射能汚染のないように遮へい構造の検査並びに廃棄物・排水等の処理について所管の役所へ所定手続を行い、許可を得ている。また、施設利用者についても放射線障害の予防措置を講ずるとともに、被爆状況を定期的に確認し健康診断を実施して、安全確保の徹底化を図っている。
日獣大	おおむね適切である	現在の動物病院である動物医療センターの建物は、5年前に建設されたもので、建築基準に沿って建設されている耐震構造である。定期的に消防署等が行っている防火設備等の点検においても合格している。放射線関連施設（X線撮影装置、放射線治療器：ライナック）などから

		のX線漏洩を完全に遮蔽されており、定期的な検査も行われている。また、放射線を扱う、教職員の定期的な健康チェックも行い、万全をきした体制をとっている。
麻布大	適切な部分が多い	放射線治療装置や診断装置は、放射線障害防止法や電離則等の法令を遵守し、その安全性を確保している。麻酔薬等の抗精神薬等は施錠可能な部屋で管理している。
日大	おおむね適切である	学部との緊密な連携を保ち、セキュリティシステム、厳重な薬品管理、放射線防止に必要な措置、機器メーカーによるメインテナンスの実施など安全面において万全の配慮を行っている。

表VIII-4. 研究教育環境に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	施設は原始林に隣接し、風光明媚な環境下にある。その中で、教育研究に取り組める地の利を生かしながら、有能な人材養成を行なっている。
北里大	おおむね適切である	小動物診療センターの増改築に伴い、MRI、放射線治療装置などが装備され教育研究に必要な装置が整備された。さらに、床面積が従来の約3倍になり教育に必要な十分なスペースが確保された。また、オープンリサーチセンターの併設などと合わせて研究教育環境の充実が図られた。
日獣大	おおむね適切である	付属動物医療センターの新設並びにMRI、CTなどの高度な画像診断装置の整備、最新の放射線治療器の設置などとともに、図書館棟、教育棟の建設が一昨年行われ学生並びに教員の研究教育環境は大幅に整備されている。
麻布大	適切な部分が多い	適切な部分が多いと考えるが、学生や研修医数に比較し研究教育面積の不足を早期に改善する必要があると思われる
日大	おおむね適切である	施設設備、機器の整備充実が図られているが、より一層の研究教育環境の向上を目指したい。

IX. 社会連携

表IX-1. 動物病院が物的・人的資源（施設の解放、臨床セミナー、卒後教育、生涯教育等）を社会に提供する努力がなされていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	獣医学部獣医学科のみならず、本学のエクステンションセンター、入試課などの組織が中心となって卒後教育や生涯教育の場として学内外ともに開放している。
北里大	有	オープンリサーチセンターにより施設を外部研究者などに広く開放している。また、病院セミナーなどを開催して地域の獣医師に対して卒後教育の場を提供している。
日獣大	有	獣医学部獣医学科のみならず、本学の広報委員会などの組織が中心となって卒後教育や生涯教育の場として学内外ともに開放している。
麻布大	有	各獣医師会主催の生涯教育に対する施設解放や臨床セミナー等への臨床系教員の講師参画など人的資源としても社会貢献している。また、本年度からは、日本盲導犬協会所属の盲導犬や訓練犬の診断・治療のみならず健康診断や避妊去勢手術の協力などを実施している。
日大	有	動物病院主催の臨床セミナー（日本獣医師会の生涯教育のポイントに認定）を毎月1回開催するなど卒後教育、生涯教育を平成7年に開設して以来、13年間にわたって実施している。

表IX-2. 動物病院において、研修獣医師制度を設けていますか？また、制度は適切に運営されていますか？

大学	有無 評価	コメント
酪農大	有 おおむね適切である	生産動物（2名）、伴侶動物医療（11名）とともに研修獣医師制度があり、毎年度更新を行なっている。
北里大	有 おおむね適切である	『北里大学獣医学部附属動物病院における獣医師の臨床研修に関する規程』に基づき、毎年、3名ないし4名の研修獣医師を有給で雇用し、研修プログラムを作成して実践的な診療技術・知識の向上を目的に研修を実施しており、診療獣医師の育成を図っ

		ている。なお、本学の獣医師臨床研修は、日本獣医師会による獣医師研修の委託事業に採択され、助成を受けて行っている。
日獣大	有 おおむね適切である	獣医師の卒後臨床教育を本学では制度化し、臨床研修委員会を設置している。現在、3年間の研修期間によって、毎年6名の新たな臨床研修獣医師（前期研修）を採用し、その後の2年間の後期研修に結びついている。研修の規定、臨床研修プログラムの整備などによって適切に研修が行われるよう配慮して運営されている。
麻布大	有 適切な部分が多い	全科研修獣医師・専科研修獣医師制度を設け、80～100人の研修獣医師を受け入れている。制度は適切な部分が多いが、教育プログラムの更なる充実が必要であると思われる。
日大	有 おおむね適切である	有給研修医制度「4年間コース」と無給研修医制度があり、両者とも適切に運営されている。

表IX-3. 教育研究上において、他大学との適切な関係が構築されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	北海道大学と連携し、チュートリアル教育を行なっている。
北里大	適切な部分が多い	一部において他大学との共同研究が行われている。また、病院セミナーなどに他大学の教員を講師として招聘している。
日獣大	おおむね適切である	本学では武藏野地域5大学と一部の教科について単位互換を行い、また、セミナーを公開するなど他大学との連携をとるようにしている。
麻布大	適切な部分が多い	単位互換や病院見学の受け入れなどを含め他大学との適切な関係が構築されつつある。
日大	おおむね適切である	動物病院では他大学の学生の研修を受け入れており、研究部門では教員が個々に実施している。

表IX-4. 大学と地域社会の協力関係は構築されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	本学は生産動物の諸疾病防除、生産向上をめざし北海道内 JA、NOSAIとの共同研究を行なっている。
北里大	有	病院を利用した委託事業を行なっている。さらに、セミナーを共催したり、講師派遣などを行なっている。また、地域の各種委員を委嘱されたりしており、地域との協力関係が構築されている。
日獣大	有	本学の臨床系教員のみならず大学全体で、独自ではあるが、地域社会との連携をとて講師派遣を行い、地域社会に貢献をしている。
麻布大	有	市民講座への教員の参加協力や地域獣医師会との交流など、地域社会との協力関係は以前から構築されている。
日大	有	主に犬猫を対象とする二次診療の他、医療相談室での無料電話相談、近隣の中学校・高等学校からの見学・職場体験学習の受け入れなど、地域社会と十分な協力関係を構築している。

表IX-5. 社会連携に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	本学の建学の精神から北海道各地域との農畜産業に関する連携は当然である。
北里大	おおむね適切である	立地環境のために地域との連帯が強く、セミナーの共催をはじめ、地域の各種委員会の委員を委嘱されるなど地域社会との連帯が構築されている。また、オープンリサーチセンターや高度医療機器を設置している関係で、大学周囲に限定されることなく広範な地域との交流・連携が構築されている。
日獣大	おおむね適切である	けっして十分とは言えないが、地域社会と様々な大学、研究機関との連携をとて研究教育活動を行い、臨床教育においては各地域の獣医師会に講師を派遣して卒後教育などに大きく貢献している。
麻布大	適切な部分が多い	適切な部分が多いが、さらに積極的に取り組む必要がある

	多い	ると思われる。
日大	おおむね適切 である	動物病院セミナーなど、社会貢献に一定の役割を果しているが、今後もセミナーを継続するとともに参加者の意見を取り入れ、一層の質的向上を図りたい。

X. 社会的責務

表X-1.社会的機関として必要な、動物病院の組織倫理に関する規定はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	付属家畜病院規定がある。
北里大	有	現在は学部における倫理規定があり、病院組織もこれに準拠している。しかし、診療など学部とは異なる動物病院組織に合わせた倫理規定の作成が今後の課題である。
日獣大	無	現在、動物病院の組織倫理などの倫理規定を必要と判断して本学に常設されている生命倫理委員会との協力の下に規定を策定する予定である。
麻布大	無	病院運営規則や研修医の一部に組織倫理に関する規定はあるが、体系化した組織倫理規定はない。
日大	有	日本大学生物資源科学部付属家畜病院規程がある。

表X-2.組織倫理に関する規定に基づき、適切な運営はされていますか？

- a. おおむね適切である b. 適切な部分が多い c. 適切でない部分が多い d. 適切でない

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	付属家畜病院規定に基づき運営されている。
北里大	適切な部分が多い	動物病院における組織倫理規定は無いが、学部の規定に準拠して運営されている。
日獣大	おおむね適切である	動物病院独自の倫理規定は無いが、大学全体の生命倫理委員会に動物病院での新たな試みなどを議題として提示し、その判断を仰いでいる。
麻布大	適切な部分が多い	組織倫理に関しては、各委員会で所轄事項について審議され運営されている。
日大	おおむね適切である	上記の規程に基づき適切に運営されている。

表X-3. 動物病院における外部・内部への危機管理体制が整備され、かつ適切に機能していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	適切な部分が多い	BSE 対策は整備されている。
北里大	適切でない部分が多い	各自の判断に任されており、動物病院における規定やマニュアルなどは整備されておらず作成の必要がある。
日獣大	適切でない部分が多い	動物病院における危機管理体制は、現時点で整備されてない。一方で、臨床系教員、臨床研修獣医師など付属動物医療センターに勤務するものには適宜危機管理について周知している。
麻布大	適切な部分が多い	適切な部分が多いが、監視カメラの設置等不十分な点も多い。
日大	おおむね適切である	学内においては動物病院運営委員会、獣医療法適用施設運営委員会、診療部会などで協議し、学外的には管轄する警察、消防、保健所、家畜保健衛生所、近隣の医療機関など連絡先を明示するなど、危機管理体制を構築している。

表X-4. 臨床教育研究の成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制は整備されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね整備されている	本学、獣医学部はホームページを開設し、適宜に臨床教育・研究成果を公表している。その他、紀要を年2回は発行している。
北里大	整備されていない部分も多い	学内に対しては、年度ごとの年報により成果を公表しているが、学外に対しては整備されていない部分も多い。
日獣大	整備されていない部分も多い	学内に対しては毎年、研究報告を発刊して業績集とともに作成している。関連する大学などにはその研究報告を寄贈して本学における臨床教育研究の実績を知らしめるべき努力をしている。

麻布大	おおむね整備されている	各臨床教員の業績報告は毎年なされており、オンラインで登録し公表している。本年から、附属動物病院のアニマルレポートを作成し、臨床教育研究の成果の広報活動の充実を企画している。
日大	充分整備されている	学会発表およびホームページなどにより広報活動を行う体制が整備されている。

表X-5.社会的責務に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	おおむね適切である	本学の使命から、教職員が一体となり、前向きに取り組んでいる。
北里大	適切な部分が多い	動物病院が地域の診療をカバーする社会的機関として存続している以上、組織倫理が確立され、適切に運営される必要がある。現在は教育機関としての組織倫理における自己点検評価を毎年実施しているが、動物病院としても自己点検・評価し、より良い組織として運営され、社会貢献出来るように、動物病院独自の規程やマニュアルなどを整備したい。
日獣大	適切な部分が多い	本学の付属動物医療センターは、地域住民並びに開業獣医師からの紹介症例を中心に受診する二次診療施設としての役割が大である。一方で、動物医療センターにおいて勤務する臨床系教員などソフト面での不足から広く社会的な責務を果たしているとは言い難い。今後は、センターにおける種々のシステムを構築し、外部からの要求に十分に答えられる動物病院として整備するものである。
麻布大	適切な部分が多い	適切な部分は多いが、更なる改善が必要であると思われる。
日大	おおむね適切である	大学付属動物病院としての認識に基づき、教職員および研修医を含む全員が常に社会的責務を果たすよう努力している。

XI. 私立獣医科大学の臨床教育・動物病院の全体評価

各設問に対する回答において、 $a = 3$ 、 $b = 2$ 、 $c = 1$ 、 $d = 0$ として数値化した。

選択肢内容の例としては

- a : おおむね適切である／充分機能している
- b : 適切な部分が多い／おおむね機能している
- c : 適切でない部分が多い／機能していない部分が多い
- d : 適切でない／ほとんど機能していない

など。

なお、選択肢が「有・無」だけのものについては、その標記のみとした。

また、自由記載の回答については、集計表から除外した。

I 獣医学科における臨床教育および動物病院の理念・目的・目標など

I-1 臨床教育の理念・目的・目標	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①理念をふまえた、臨床教育目的・目標が明確に設定されているか？	有		有		有		有		有	
②臨床教育目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味しているか？	a	3	a	3	a	3	a	3	a	3
③臨床教育目的・目標に沿った方針（アクション・ポリシー）は設定されているか？	有		有		有		有		有	
④臨床教育目的・目標・方針が学生および教員に周知されているか？	b	2	b	2	b	2	a	3	a	3
⑤臨床教育目的・目標・方針が学外に公表されているか？	有		有		有		有		有	
I-2 動物病院の理念・目的・目標	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①理念をふまえた動物病院の目的・目標が明確に設定されているか？	有		有		有		有		有	
②動物病院の目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味したものか？	a	3	b	2	a	3	a	3	a	3
③動物病院の目的・目標に沿った方針（アクション・ポリシー）は設定されているか？	有		有		有		有		有	
④動物病院の目的・目標・方針が学生および教員に周知されているか？	b	2	c	1	c	1	a	3	a	3
⑤動物病院の目的・目標・方針が学外に公表されているか？	有		有		有		有		有	
I-3 臨床教育および動物病院の理念・目的・目標に対する自己点検・評価	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
	a	3	c	1	b	2	b	2	a	3
	13		9		11		14		15	

II 教育研究組織

II-1 臨床教育研究組織	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①臨床教育研究が充分出来るような、適切な組織上の配慮、措置はあるか？	a	3	a	3	a	3	b	2	a	3
②臨床教育研究を進めるにあたり、学内の意志決定機関は確立され、適切に機能しているか？	b	2	b	2	b	2	a	3	b	2
③臨床教育研究組織が大学の使命・目標や学習者の要求に対応できるよう、充分機能しているか？	b	2	b	2	b	2	b	2	b	2
II-2 臨床教育研究の管理体制	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
臨床教育研究を進めるにあたり、運営責任を含めた管理体制は確立されているか？	b	2	a	3	a	3	a	3	a	3
II-3 臨床教育研究組織での動物病院の位置づけ	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①臨床教育研究組織と動物病院組織は別個に設定してあるか？	有		有		有		有		有	
②臨床教育研究組織と動物病院組織は関連性があるか？	有		有		有		有		有	
II-4 臨床教育組織に対する自己点検・評価	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
	b	2	a	3	a	3	a	3	a	3
	11		13		13		13		13	

III 教育課程・教育方法

III-1 教育課程	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①臨床教育目的を達成する為に教育課程の編成方針は適切に設定されているか？	a	3	a	3	a	3	a	3	a	3
②臨床教育において、授業科目および単位が適切に編成されているか？	a	3	a	3	a	3	a	3	a	3

③教育課程の編成方針に則した授業科目・授業内容になっているか？	b	2	b	2	b	2	b	2	b	2
④倫理面からの教育はなされているか？	有		有		有		有		有	
⑤臨床教育において、実践・実務能力を育成する教育を実践しているか？	b	2	c	1	c	1	a	3	b	2
⑥臨床系所属教室（研究室）への研究教育経費などは適切に分配されているか？	b	2	a	3	b	2	a	3	a	3
III-2 教育方法	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①教育方針・目的は授業内容・教育方法などに充分反映されているか？	a	3	b	2	b	2	a	3	a	3
②方針に則した授業内容・授業科目は適切に設定されているか？	a	3	a	3	a	3	a	3	a	3
③シラバスが作成され、適切に活用されているか？	b	2	a	3	a	3	a	3	a	3
④授業方法に工夫はあるか？（例：ケーススタディ、ディベート、フィールドワークなど）	有		有		有		有		有	
⑤動物病院を活用した教育研究指導の配慮はなされているか？	有		有		有		有		有	
⑥動物病院を活用した実践的教育の実施方法は適切に整備されているか？	b	2	a	3	a	3	b	2	a	3
III-3 結果に対する評価	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
教育学習結果に対しての評価システムはあるか？ある場合、適切に機能しているか？	b	2	a	3	a	3	a	3	a	3
III-5 教育課程・方法に対する自己点検・評価	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
	b	2	a	3	b	2	a	3	a	3
	26		29		27		31		31	

「III-4 臨床教育課程における独自の工夫」については自由記述のため集計からは除外。

IV 学生

IV-1 教室（研究室）への学生の受け入れ	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①臨床教育に相応しい環境の確保のため、学生数は適切に確保されているか？	a	3	a	3	a	3	a	3	a	3
②基礎系教室（研究室）の学生の臨床系教室への転向、またはその逆の転向はあるか？	有		有		有		有		有	
IV-2 学習支援体制について	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①学生への学習支援体制が整備され、適切に運営されているか？	b	2	b	2	b	2	a	3	a	3
②基礎系研究生の学生が臨床系研究室の研究内容に触れる機会はあるか？	有		有		有		有		有	
③学生に対する健康診断、心的支援、生活相談等が行われているか？	有		有		有		有		有	
④学生に対する就職・進学の相談、助言体制が整備され、適切に運営されているか？	b	2	a	3	a	3	a	3	a	3
⑤学生サービスに対する学生からの意見などをくみ上げるシステムはあるか？	有		有		有		有		有	
IV-3 学生受け入れに対する自己点検・評価	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
	b	2	a	3	a	3	b	2	a	3
	9		11		11		11		12	

V 教職員

V-1 教員	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①臨床教育組織に必要な人員は確保されているか？	c	1	b	2	c	1	c	1	b	2
②臨床系構成（専任、兼任、臨時、年齢、専門分野）のバランスはとれているか？	c	1	c	1	c	1	c	1	b	2
③臨床系構成で補充したい分野はあるか？	有		有		有		有		有	

④臨床教育の目標を達成するための、臨床系教員の教育担当時間配分は適切か？	c	1	b	2	c	1	c	1	a	3
V-2 教員への支援体制	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①臨床系教員の採用・昇任への基準はあるか？	有		有		有		有		有	
②臨床系教員の研究教育活動を支援するために TA (Teaching Assisant) 等が適切に活用されているか？	a	3	b	2	a	3	b	2	a	3
③研究教育目的を達成するための研究教育費が適切に配分されているか？	b	2	b	2	c	1	b	2	a	3
④研究教育活動の向上のために FD 等の取り組みが適切になされているか？	b	2	b	2	b	2	b	2	a	3
⑤臨床系教員の研究教育活動を活性化するための評価体制が整備され、適切に運用されているか？	c	1	b	2	c	1	c	1	a	3
V-3 職員	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
①動物病院に必要な職員が確保され、適切に配置されているか？	c	1	a	3	c	1	c	1	c	1
②動物病院の職員の採用・昇任・異動の方針が明確にされ、適切に運用されているか？	c	1	a	3	c	1	a	3	a	3
③職員の資質向上のための研修 (SD など) の取り組みが適切になされているか？	c	1	a	3	b	2	b	2	a	3
④動物病院の運営のための事務体制が構築され、適切に機能しているか？	b	2	a	3	c	1	b	2	c	1
V-4 教職員に対する自己点検・評価	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
	c	1	b	2	b	2	b	2	a	3
	17		27		17		20		30	

VI 管理運営

	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
VI-1. 動物病院における運営管理体制が整備され、適切に配置されているか？	b	2	b	2	b	2	a	3	a	3
VI-2. 動物病院における管理部門と教育部門の連携が適切になされているか？	a	3	a	3	c	1	a	3	a	3
VI-3. 臨床系教員の、動物病院内での教育研究指導への配慮は適切になされているか？	a	3	a	3	a	3	a	3	a	3
VI-4. 臨床研修と教育を両立させるための配慮は充分されているか？	b	2	b	2	a	3	b	2	a	3
VI-5. 動物病院運営にあたり、危機管理体制は整っているか？	b	2	c	1	c	1	b	2	b	2
VI-6. 管理運営体制に対する自己点検・評価	b	2	b	2	a	3	b	2	b	2
	14		13		13		15		16	

VII 財務

	酪農大		北里大		日獣大		麻布大		日大	
VII-1. 動物病院に必要な経費が確保され、かつ収入と支出のバランスを考慮した運営がなされているか？	b	2	a	3	b	2	b	2	a	3
VII-2. 動物病院の会計処理は適切になされているか？	a	3	a	3	a	3	b	2	a	3
VII-3. 動物病院の財務情報の公開が適切な方法でなされているか？	a	3	c	1	a	3	a	3	a	3
VII-4. 外部資金の導入（委託事業、収益事業など）の努力はされてるか？	有		有		有		有		有	
VII-5. 管理運営体制に対する自己点検・評価	b	2	b	2	b	2	b	2	a	3
	10		9		10		9		12	

VIII 研究教育環境

	酪農大		北里大		日獸大		麻布大		日大	
VIII-1. 研究教育環境として、動物病院は整備され、かつ有効に活用されているか？	b	2	a	3	a	3	b	2	a	3
VIII-2. 研究教育活動の目的を達成するための施設設備が適切に維持・運営されているか？	a	3	a	3	a	3	b	2	a	3
VIII-3. 動物病院の施設設備の安全性は確保されているか？	a	3	a	3	a	3	b	2	a	3
VIII-4. 研究教育環境に対する自己点検・評価	a	3	a	3	a	3	b	2	a	3
	11		12		12		8		12	

IX 社会連携

	酪農大		北里大		日獸大		麻布大		日大	
IX-1. 動物病院が物的・人的資源（施設の解放、臨床セミナー、卒後教育、生涯教育等）を社会に提供する努力はなされているか？	有		有		有		有		有	
IX-2. 動物病院において、研修獣医師制度を設けているか？また、制度は適切に運営されているか？	a	3	a	3	a	3	b	2	a	3
IX-3. 教育研究上において、他大学との適切な関係が構築されているか？	b	2	b	2	a	3	b	2	a	3
IX-4. 大学と地域社会の協力関係は構築されているか？	有		有		有		有		有	
IX-5. 社会連携に対する自己点検・評価	b	2	a	3	a	3	b	2	a	3
	7		8		9		6		9	

X 社会的責務

	酪農大		北里大		日獸大		麻布大		日大	
X-1. 社会的機関として必要な、動物病院の組織倫理に関する規定はあるか？	有		有		無		無		有	
X-2. 組織倫理に関する規定に基づき、適切な運営はされているか？	b	2	b	2	a	3	b	2	a	3
X-3. 動物病院における外部・内部への危機管理体制が整備され、かつ適切に機能しているか？	b	2	c	1	c	1	b	2	a	3
X-4. 臨床教育研究の成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制は整備されているか？	b	2	c	1	c	1	b	2	a	3
X-5. 社会的責務に対する自己点検・評価	a	3	b	2	b	2	b	2	a	3
	9		6		7		8		12	

XI 総合評価

	酪農大	北里大	日獸大	麻布大	日大
各項目の積算	127	137	130	135	162
平均（積算／数値化した項目数）	2.19	2.36	2.24	2.32	2.79

Ⅲ 大学別自己点検・評価の別紙資料

数値は特に記載していない限り、平成 20 年 4 月現在のものである。

| 醮農学園大学

1. 臨床系講座・教室名

教育群	ユニット名	専任教員数
生産動物医療教育群	動物生殖学	2
	生産動物内科学Ⅰ	2
	生産動物内科学Ⅱ	1
	生産動物外科学	2
伴侶動物医療教育群	獣医麻醉学	1
	画像診断学	1
	獣医臨床検査学	1
	伴侶動物内科学Ⅰ	2
	伴侶動物内科学Ⅱ	1
	伴侶動物外科学Ⅰ	1
	伴侶動物外科学Ⅱ	1
専任教員数合計		15

2. 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修				b 選択			
科目名	単位	教員	非常勤	科目名	単位	教員	非常勤
総合臨床学Ⅰ	2	4		獣医内科学特論Ⅰ	1	2	
総合臨床学Ⅱ	2	2		獣医内科学特論Ⅱ	1	2	
総合臨床学Ⅲ	1	1		獣医内科学特論Ⅲ	1	2	
総合臨床学Ⅳ	2	4		獣医外科学特論Ⅰ	1	1	
総合臨床学Ⅴ	2	3		獣医外科学特論Ⅱ	1	2	
総合臨床学Ⅵ	2	2		獣医臨床繁殖学特論	1	3	
総合臨床学Ⅶ	2	2		病院実習	1	17	
総合臨床学Ⅷ	2	4					
総合臨床学Ⅸ	2	6					
総合臨床学Ⅹ	2	3					
総合臨床学実習Ⅰ	1.5	4					
総合臨床学実習Ⅱ	1.5	4					
総合臨床学実習Ⅲ	1.5	4					
総合臨床学実習Ⅳ	1.5	2					
総合臨床学実習Ⅴ	1.5	3					
総合臨床学実習Ⅵ	1.5	4					
総合臨床学実習Ⅶ	1.5	5					
総合臨床学自習Ⅷ	1.5	7					

3. 臨床系担当教員の構成率

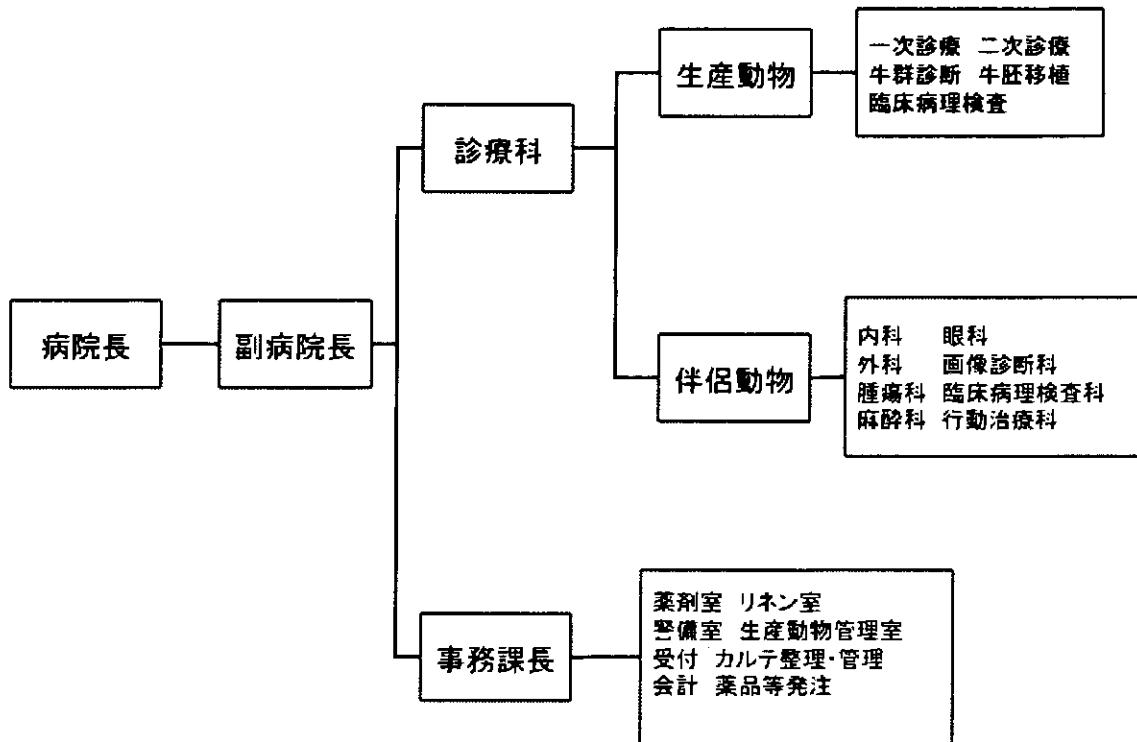
	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	総数
人数	9	5	1	0	15
構成率 (%)	33.3(9/27)	33.3(5/15)	25.0(1/4)	0	32.6(15/46)

注) 獣医学部所属の教養教育の教授2名と准教授1名を含まない。

4. 大学教員の活動時間区分について

資格	区分	* 人 数	活動時間 (時間／週)						
			学部教育	臨床活動	大学院 教育	研究活動	大学運営 管理	社会活動	合計
教 授	臨 床 系	9	15.6 (5-21)	21.6 (10.1-37.0)	4.1 (2.5-8.9)	7.7 (3.3-14.5)	5.6 (3.1-12.0)	5.0 (0.9-7.8)	59.6 (22.0-71.8)
	基礎 応用	18	18.2 (10.7-21.4)	1.1 (0.6-1.5)	4.3 (2.8-6.9)	13.2 (9.3-24.8)	8.6 (6.0-13.0)	4.7 (3.8-12.0)	50.1 (33.5-57.2)
准 教 授	臨 床 系	5	14.2 (8.8-21.0)	19.7 (12.8-29.0)	2.2 (1.2-3.2)	11.2 (5.8-12.0)	0.8 (0-2.5)	2.3 (0.5-6.8)	50.4 (40.5-62.3)
	基礎 応用	10	20.9 (9.1-31.4)	1.3 (1.3-3.0)	3.8 (1.9-6.1)	15.3 (5.9-25.0)	5.7 (2.6-14.0)	1.9 (0-4.7)	48.9 (25.9-74.1)
講 師	臨 床 系	1	10.0 (5.0-10.0)	25.0 (20.0-30.0)	0 (0-0)	10.0 (5.0-15.0)	5.0 (0-10.0)	0 (0-0)	50.0 (40.0-60.0)
	基礎 応用	3	32.7 (19.0-31.0)	0 (0-0)	2.3 (0-3.0)	19.7 (14.0-25.3)	3.0 (1.0-7.0)	0.3 (0-1.0)	58.0 (43.0-71.0)
助 教 授	臨 床 系	0	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	基礎 応用	0	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

5. 動物病院の組織図



6. 動物病院の診察科名と教員数

診察科名	教員数
(伴侶動物)	
外科 (整形)	1
腫瘍科	1
内科	2
麻酔科	1
眼科	1
画像診断科	1
行動治療科	1
(生産動物)	
外科	2
内科	3
繁殖科	2

7. 診察要員

教員数	15
有給獣医師	1
有給研修医	11
無給研修医	0
動物看護士	6
検査技師（含薬剤師）	2
その他（器具洗浄）	1
合計	36

8. 動物病院の支援人員

	事務系職員	技術系職員	動物看護士	研修獣医師		その他
				有給	無給	
現員数	6	2	6	11	0	1
一人あたりの平均延支援時間(h/週)	33	37.5	37.5	37.5	0	25

9. 動物病院の総面積（廊下を含む）と診療収入(平成 20 年度)

総面積	約 8,700m ²
診療収入	約 216,000,000 円

10. 現在の病院運営経費

人件費	77,570
消耗品費	90,000
光熱水道費	9,780
旅費交通費	2,880
印刷製本費	1,700
通信運搬費	1,980
修繕費	2,100
公租公課費	220
賃貸費	8,130
損害保険費	570
報酬謝礼費	3,920

諸会費	100
委託手数費	29,680
雑費	250
管理費	13,450
設備費	4,170
計	246,500

11. 動物病院の組織改編の予定：なし

12. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

- ・全身コンピュータ断層撮影装置 (CT Legato DUO モニタ-)
- ・全身コンピュータ断層撮影装置 (MF-DP3543T)
- ・X線発生装置 HF-320 (動物用腫瘍治療システム) (HF-320KV)
- ・X線テレビジョン画像解析装置(動物用腫瘍治療システム)
- ・ハイパーサーミア動物実験用装置 (動物用腫瘍治療システム)
- ・超音波診断装置 (日立 EUB6500)
- ・キャビラリー電気泳動システム一式 (P/ACE MDQ WV ディテクタム S)
- ・デジタルX線テレビシステム一式 (島津 AX Quattro D)
- ・動物腫瘍治療装置 (島津 X線管取付架台 照射筒2本)
- ・フルデジタルカラードブラー式 (アロカ Prosound SSD-5000)
- ・外科用X線テレビシステム一式 (島津 OPSCOPE-ACTIVO-D)
- ・磁気共鳴断層撮影装置 MRI-0 (GE 横河 SIGNA Profile)
- ・デジット製学術データベース (大動物)
- ・デジット動画画像作成支援システム (大動物)
- ・デジタルX線画像診断システム一式 (FUJIFILM・FCR)
- ・白内障手術機器一式 (ボシュロム・CX1110)
- ・白内障手術用顕微鏡 (トプコン・OMS-800・PRO LITE)

2) 今後の導入予定

未定

(CT や X 線照射装置などの高額機器の更新は検討したいと考えています)

II 北里大学

1. 臨床系講座・教室名：全教室数 10

	教室名	専任教員数
小動物臨床部門	小動物第1内科学	3
	小動物第2内科学	2
	小動物第3内科学	1 (1)
	小動物第1外科学	2
	小動物第2外科学	1 (1)
	小動物第3外科学	1 (1)
	獣医放射線学	3
大動物臨床部門	獣医臨床繁殖学	3
	大動物内科学	2
	大動物外科学	2
専任教員数合計		20 (3)

() 内数字は欠員巣で外数

2. 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修				b 選択			
科目名	単位	教員	非常勤	科目名	単位	教員	非常勤
獣医内科学	2	2		先端診断治療学	1	4	
獣医外科学	2	1		野生動物・エキゾチックアニマル	1	5	
麻酔学・救急医療学	1	2		プロダクションメディスン	1	3	
獣医臨床繁殖学	2	3		小動物臨床実習・演習	1	10	
獣医臨床病理学	1	1		大動物臨床実習・演習	1	5	
獣医臨床放射線学	1	3					
画像診断学	1	3					
小動物総合臨床学Ⅰ	2	4					
小動物総合臨床学Ⅱ	2	3					

小動物総合臨床学Ⅲ	2	2				
大動物総合臨床学Ⅰ	2	2				
大動物総合臨床学Ⅱ	1.5	2				
大動物総合臨床学Ⅲ	1.5	1				
獣医内科学実習	1	3				
獣医外科学実習	1	3				
麻酔学・救急医療学 実習	0.5	3				
獣医臨床繁殖学実習	1	2				
獣医臨床病理学実習	1	3				
獣医臨床放射線学実 習	1	3				
画像診断学実習	0.5	3				
小動物総合臨床学実 習Ⅰ	1	5				
小動物総合臨床学実 習Ⅱ	1	3				
小動物総合臨床学実 習Ⅲ	1	3				
小動物病院実習	2	10				
大動物総合臨床学実 習Ⅰ	1	2				
大動物総合臨床学実 習Ⅱ	0.5	2				
大動物総合臨床学実 習Ⅲ	0.5	2				
大動物病院実習	1	5				

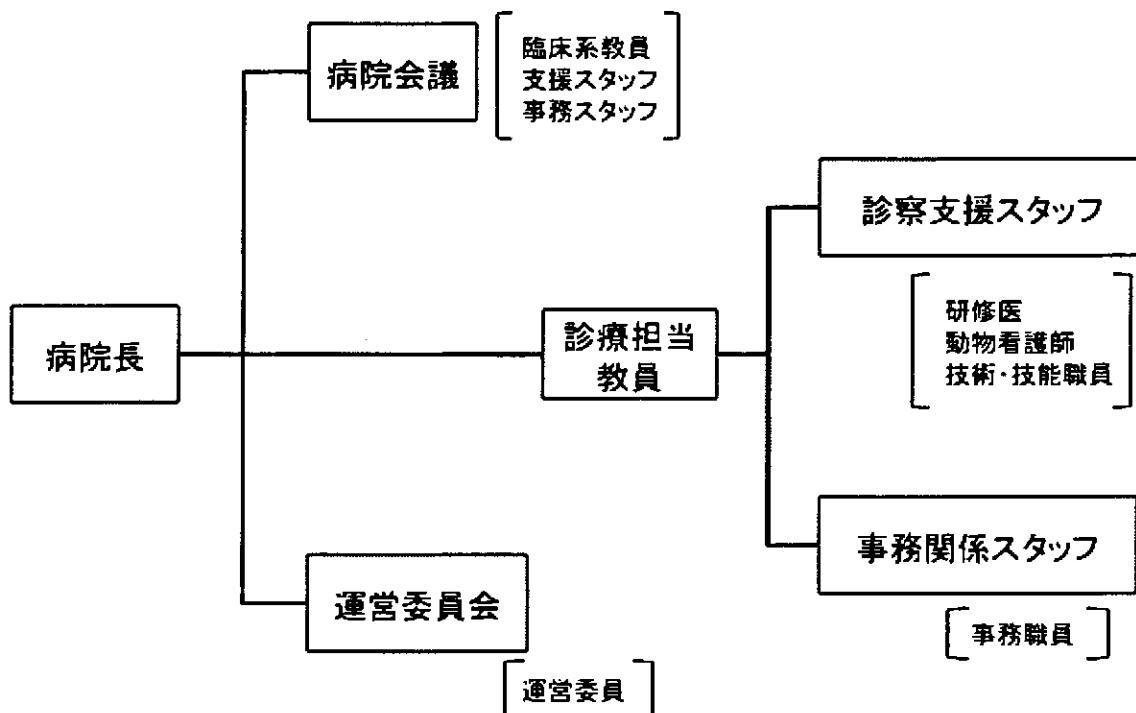
3. 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	総数
人数	5	4	6	5	20
構成率 (%)	25	20	30	25	100

4. 大学教員の活動時間区分について

資格	区分	人 数	活動時間(時間／週)						合計
			学部教育	臨床活動	大学院 教育	研究活動	大学運営 管理	社会活動	
教授	臨床系	6	9.7 (4.7-12.5)	6.0 (3.5-10.2)	2.0 (1.0-5.2)	13.4 (5.8-21.2)	9.1 (5.0-13.3)	3.0 (1.0-6.5)	43.2 (40.0-60.8)
	基礎 応用	11	21.5 (15.9-26.9)	0	4.7 (1.8-7.6)	17.3 (12.6-23.6)	5.2 (4.4-8.5)	4.5 (1.5-9.7)	53.2 (43.2-63.6)
准教授	臨床系	3	7.8 (5.3-11.0)	14.8 (11.0-18.7)	2.2 (1.3-3.0)	20.3 (15.0-25.7)	1.8 (1.0-2.7)	1.7 (0.2-3.3)	48.6 (40.0-63.3)
	基礎 応用	8	18.4 (14.9-23.1)	0	7.8 (6.4-9.0)	24.1 (20.6-28.9)	4.1 (1.6-5.9)	3.1 (1.3-4.3)	57.5 (50.0-64.3)
講師	臨床系	2	21.5 (17.5-25.5)	15.3 (8.5-22.5)	0	10.5 (2.0-19.0)	2.5 (2.0-3.0)	2.2 (0-4.5)	52.0 (44.0-62.0)
	基礎 応用	5	25.8 (20.8-34.2)	0	4.8 (2.0-9.6)	30.2 (25.0-38.4)	2.4 (0.2-4.6)	2.0 (1.2-3.0)	65.2 (59.0-71.4)
助教	臨床系	3	11.7 (7.0-18.7)	17.3 (6.0-34.0)	0.7 (0-2.0)	20.0 (10.7-39.3)	1.3 (0.3-4.3)	1.7 (0-4.7)	52.7 (44.7-70.0)
	基礎 応用	1	25.0 (-)	0.0 (-)	0.0 (-)	25.0 (-)	0.0 (-)	0.0 (-)	50.0 (-)

5. 動物病院の組織図



6. 動物病院の診察科名と教員数

診察科名	教員数
内科系診療科	8 (大動物 2 小動物 6)
外科系診療科	6 (大動物 2 小動物 4)
繁殖科	3
放射線科	3

7. 診察要員

教員数	20
有給獣医師	0
有給研修医	3
無給研修医	0
動物看護士	3
検査技師 (含薬剤師)	1
その他 (器具洗浄)	0
合計	27

8. 動物病院の支援人員

	事務系職員	技術系職員	動物看護士	研修獣医師		その他
				有給	無給	
現員数	3	3	3	3		
一人あたりの 平均延支援時 間(h/週)	38	38	38	38		

9. 動物病院の総面積（廊下を含む）と診察収入（平成 20 年度）

総面積	約 2,449.25m ²
診療収入	約 77,419,948 円

10. 現在の病院運営経費（平成 20 年度）

人件費 ¹⁾	8,698,356
教育研究経費	44,006,391
管理費 ²⁾	—
施設関係支出 ³⁾	—
設備関係支出	10,430,700
計	63,135,447

- 1) 病院における診療担当教員は学部の兼務教員であるため、病院の入件費に計上していない。
- 2) 光熱水費は学部で一括計上しているため、病院経費には計上していない。
- 3) 建物建設等は学部負担とし、病院経費には計上していない。

11. 動物病院の組織改編の予定

教員の移動に伴い診療体制の改編を出来るだけ早く実施したい。

12. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

1. 放射線治療装置
2. M R I 装置
3. C T 装置
4. 核医学検査装置
5. X 線撮影装置
6. 超音波診断装置
7. 内視鏡下手術システム

2) 今後の導入予定

ホルミウムレーザーシステム

III 日本獣医生命科学大学

1. 臨床系講座・教室名

講座名	教室名	専任教員数
獣医内科学	獣医内科学	5
獣医外科学	獣医外科学	5
獣医放射線学	獣医放射線学	3
獣医臨床繁殖学	獣医臨床繁殖学	3
獣医臨床病理学	獣医臨床病理学	2
獣医高度医療学	獣医高度医療学	1
専任教員数合計		19

2. 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修				b 選択			
科目名	単位	教員	非常勤	科目名	単位	教員	非常勤
臨床免疫学	1	1		獣医臨床解剖学	1	2	3
獣医内科学総論	1	6		獣医臨床栄養学	1	1	3
獣医消化器病学	1	4	1	臨床動物行動学	1	2	1
獣医泌尿器病学	1	2		臨床栄養学	1	3	2
獣医呼吸器循環器病学				臨床獣医学 I			各臨 床教 室教 員
	1	4	4		4		
獣医代謝内分泌学	1	5	1	臨床獣医学 I 演習	4	1	1
獣医外科学総論	1	5		臨床獣医学 II 演習	4	1	1
獣医軟部外科学 I				臨床獣医学 II 演習			各臨 床教 室教 員
	1	5			4		
獣医軟部外科学 II	1	5		獣医臨床解剖学	1	2	3
獣医運動器疾患学	1	5					
獣医麻酔学	1	5					
放射線生物学	1	2					
獣医放射線学	2	3					

獣医臨床繁殖学	3	3				
獣医臨床病理学	2	1	1			
小動物基礎栄養学	1	1	3			
獣医臨床薬理学	1	2				
獣医総合臨床	2	19				
臨床体験実習	2	2				
臨床基礎実習	0.5	1				
獣医内科学実習	2	6				
獣医外科学実習	2	5				
獣医放射線学実習	1	3				
獣医臨床繁殖学実習	2	3				
獣医臨床病理学実習	1	2				
獣医総合実習(臨床)	4					

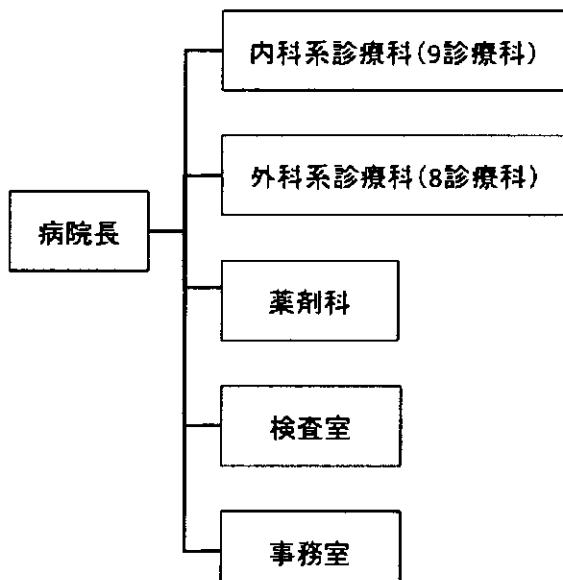
3. 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	総数
人数	5	6	5	3	19
構成率 (%)	26.3	31.6	26.3	15.8	100

4. 大学教員の活動時間区分について

資格	区分	人 数	活動時間（時間／週）						合計
			学部教育	臨床活動	大学院 教育	研究活動	大学運営 管理	社会活動	
教授	臨床系	5	12 (9-14)	4 (1-8)	6 (6-6)	15 (10-20)	6 (4-8)	4.5 (2-5)	47.5 (38-57)
	基礎応用	14	12 (9-18)	0 (-)	7 (6-7)	18.5 (15-26)	6 (4-10)	3.2 (2-5)	46.7 (36-66)
准教授	臨床系	6	11 (7-12)	18 (5-35)	5 (0-6)	12.5 (8-18)	4 (2-5)	3.3 (2-5)	53.8 (24-81)
	基礎応用	9	11 (9-13)	0 (-)	6 (6-6)	28 (20-33)	3 (2-3)	3.5 (1.5-4)	51.5 (38.5-59)
講師	臨床系	5	11 (9-12)	9 (5-18)	3.4 (3-4)	19 (15-26)	2 (1-3)	2.5 (1-3)	46.9 (34-66)
	基礎応用	8	12 (9-14)	0 (-)	3.4 (3-4)	29 (28-30)	2 (1-2)	2.4 (1-3)	48.8 (42-53)
助教授	臨床系	3	13 (12-15)	15 (9-23)	0 (-)	19 (16-20)	1 (1-1)	2.2 (0-3)	50.2 (38-62)
	基礎応用	4	11 (7-12)	0 (-)	0 (-)	34 (28-35)	1 (1-2)	2.3 (2-3)	48.3 (38-52)

5. 動物病院の組織図



注) 平成 20 年 7 月 1 日より、病院長を院長に名称変更、新たに副院長 2 名を配置した。上記組織図は、平成 20 年 4 月現在のものである。

6. 動物病院の診察科名と教員数

診察科名	教員数
一般内科	4
循環器科	2
腎臓科	1
内分泌科	4
腫瘍科	4
消化器科	1
神経科	1
呼吸器科	1
生殖器科	1
行動治療科	1
特殊動物科	
一般外科	9
整形外科	4
産科	4
軟部外科	5
脳神経外科	4
腫瘍外科	
眼科	2

7. 診察要員

教員数	27
有給獣医師	0
有給研修医	18
無給研修医	0
動物看護士	6
検査技師（含薬剤師）	3
その他（器具洗浄）	0
合計	54

8. 動物病院の支援人員

	事務系職員	技術系職員	動物看護士	研修獣医師		その他
				有給	無給	
現員数	4	3	6	18		
一人あたりの平均延支援時間(h/週)	37.5	37.5	37.5	40		

9. 動物病院の総面積（廊下を含む）と診療収入（平成 20 年度）

総面積	約 1,987.93m ²
診療収入	約 402,724,695 円

10. 現在の病院運営経費(平成 20 年 4-9 月)

人件費 ¹⁾	59,296,000
管理費 ²⁾	18,222,000
医療経費 ³⁾	47,322,000
設教育研究用機器備品	139,936,000
計	138,836,000

- 1) 専任教員給は含まず
- 2) 光熱水費、清掃等は含まず
- 3) 薬品費、材料費

11. 動物病院の組織改編の予定

平成 20 年 7 月 1 日より、病院長を院長に名称変更し、新たに副院長 2 名を配置した。

12. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

- ・ CT（東芝マルチスライス CT ASTE10NSUPER4）平成 16 年 11 月 4 日取得
- ・ MRI（東芝磁気共鳴画像診断装置 VISART）平成 12 年 3 月 27 日取得
- ・ RT（小動物腫瘍組織放射線感受性研究装置ライナック）平成 17 年 3 月 25 日取得

2) 今後の導入予定

平成 21 年度以降に高額医療機器（MRI）の更新について検討している。

IV 麻布大学

1. 臨床系講座・教室名

講座名	教室名	専任教員数
	外科第1研究室	2
	外科第2研究室	3
	内科学第1研究室	2
	内科学第2研究室	2
	内科学第3研究室	2
	獣医放射線学教室	3
	小動物臨床研究室 (病院専任)	6
	臨床繁殖学教室	2
専任教員数合計		22

2. 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修				b 選択			
科目名	単位	教員	非常勤	科目名	単位	教員	非常勤
獣医外科学	2	6		小動物病院実習	2	15	
獣医内科学	2	5		産業動物臨床基礎 実習	1	10	1
獣医放射線学	2	3					
臨床病理学	2	10					
先端獣医療	1	12					
小動物獣医総合臨床	8	19					
獣医療倫理・動物福祉	2	1	1				
獣医関係法規	2		1				
獣医臨床繁殖学	2	1					
産業動物獣医総合臨床	6	10	6				
小動物臨床実習	3	17					
獣医内科学実習	1	7					
獣医外科学実習	1	6					
獣医放射線実習	1	3					
獣医臨床繁殖学実習	1	2					
産業動物獣医臨床実習	1	9					
牧場実習	1	1					

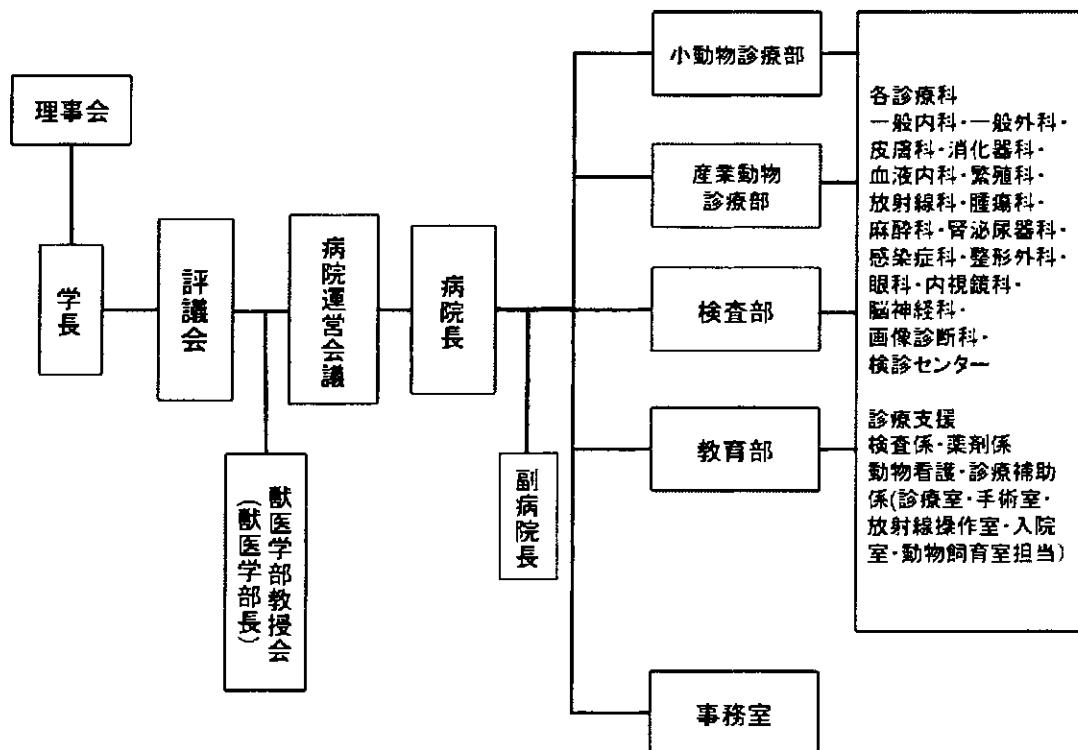
3. 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	総数
人数	5	9	5	3	22
構成率 (%)	22.7	40.9	22.7	13.6	100

4. 大学教員の活動時間区分について

資格	区分	人 数	活動時間 (時間／週)						
			学部教育	臨床活動	大学院 教育	研究活動	大学運営 管理	社会活動	合計
教 授	臨床系	5	(1 - 12)	(1 - 20)	(2 - 20)	(5 - 15)	(2 - 10)	(1 - 6)	(37.5 - 50)
	基礎 応用		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
准 教 授	臨床系	9	(1 - 12)	(1 - 24)	(2 - 10)	(5 - 20)	(2 - 8)	(1 - 6)	(37.5 - 50)
	基礎 応用		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
講 師	臨床系	5	(1 - 12)	(1 - 24)	(2 - 10)	(5 - 20)	(2 - 8)	(1 - 4)	(37.5 - 50)
	基礎 応用		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
助 教	臨床系	3	(1 - 10)	(2 - 30)	(0 - 5)	(5 - 24)	(2 - 4)	(1 - 4)	(37.5 - 50)
	基礎 応用		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

5. 動物病院の組織図



6. 動物病院の診察科名と教員数

診察科名	教員数
一般内科	9
一般外科	6
皮膚科	1
消化器科	3
血液内科	3
繁殖科	2
放射線科	3
腫瘍科	3
麻酔科	2
腎・泌尿器科	1
感染症科	1
整形外科	3
循環器科	2
眼科	1
内視鏡科	2
脳神経科	2
画像診断科	5
検診センター	1

7. 診察要員

教員数	23
有給獣医師	1
有給研修医	19
無給研修医	80
動物看護士	7
検査技師（含薬剤師）	6
その他（器具洗浄）	0
合計	136

8. 動物病院の支援人員

	事務系職員	技術系職員	動物看護士	研修獣医師		その他
				有給	無給	
現員数	7	6	7	19	80	
一人あたりの平均延支援時間(h/週)	40	37.5	40	37.5	7.5	

9. 動物病院の総面積（廊下を含む）と診療収入

総面積	約 2206.3m ²
診療収入	約 359,306,328 円

10. 現在の病院運営経費

人件費	89,461,494
教育研究経費	193,840,504
管理経費	15,053,163
設備関係支出	35,614,812
計	333,969,973

11. 動物病院の組織改編の予定

2007 年度に獣医学部付属から大学付属に移行し、大幅な組織改編を行ったところである。

現在の組織に問題が生じれば、隨時改編を考慮している。

12. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

コンピューター断層撮影装置 1 台

MRI 撮影装置 1 台

4MV 高エネルギーX 線治療装置 1 台

その他、超音波診断装置・内視鏡装置等

2) 今後の導入予定

2008 年 8 月にコンピューター断層撮影装置を 32 列の新機種に変更する予定である。

2010 年には高エネルギーX 線治療装置の新規機種への更新を計画している。

V 日本大学

1. 臨床系講座・教室名

講座名	教室名	専任教員数
	獣医外科学研究室	4
	獣医内科学研究室	4
	獣医放射線学研究室	3
	獣医臨床病理学研究室	3
	獣医臨床繁殖学研究室	2
	総合臨床獣医学研究室	6
専任教員数合計		22

2. 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修				b 選択			
科目名	単位	教員	非常勤	科目名	単位	教員	非常勤
獣医内科学 A	2	2		エキゾチックアニマル学	2	2	
獣医内科学 B	2	2		獣医臨床栄養学	2		1
獣医内科学 C	2	2					
獣医外科学 A	2	2					
獣医外科学 B	2	2					
獣医外科学 C	2		1				
獣医臨床繁殖学 A	2	1					
獣医臨床繁殖学 B	2	1					
獣医臨床繁殖学 C	2	1					
獣医臨床病理学 A	2	1					
獣医臨床病理学 B	2	1					
獣医放射線学 A	2	2					
獣医放射線学 B	2	2					
総合臨床獣医学 A	2	4					
総合臨床獣医学 B	2	4					
獣医内科学実習	1	4					
獣医外科学実習 A	1	4					
獣医外科学実習 B	1	4					

獣医臨床繁殖学実習	1	2					
獣医放射線学実習	1	2					
臨床獣医学実習	6	20					
産業動物臨床実習	1	2					
獣医学総合演習 B	2	20					
獣医学総合演習 C	1	20					
獣医学専門演習 IB	4	20					

3. 臨床系担当教員の構成率

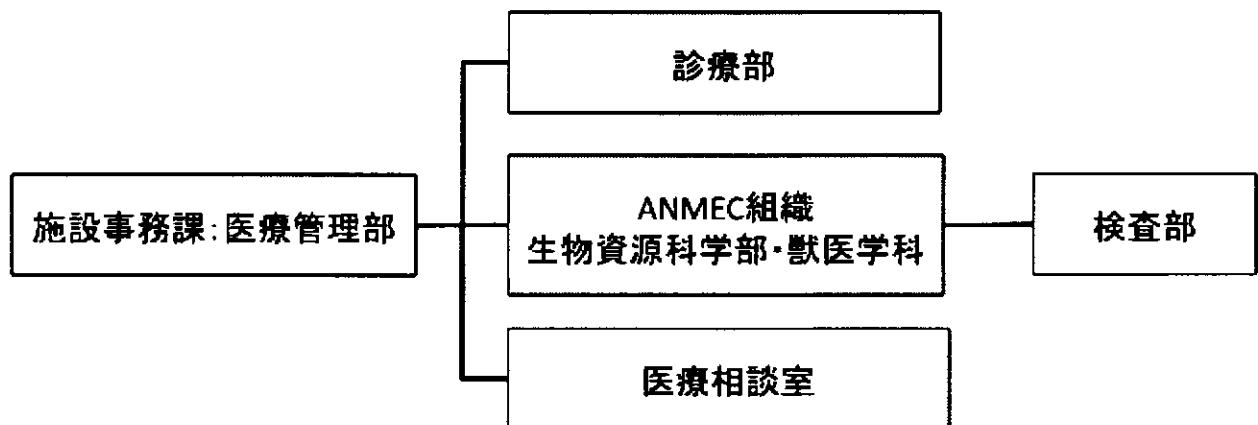
	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助手 (総数/臨床系)	総数
人数	18/4	9/7	10/5	9/6	46
構成率 (%)	22	78	50	67	48

4. 大学教員の活動時間区分について

資格	区分	人 数	活動時間 (時間／週)						
			学部教育	臨床活動	大学院 教育	研究活動	大学運営 管理	社会活動	合計
教 授	臨床系	4	11 (2 - 20)	19 (3 - 48)	5 (0 - 12)	8 (2 - 20)	6 (0 - 12)	4 (0 - 10)	53 (30 - 72)
	基礎 応用	13*	19 (3 - 60)	0 (0 - 2)	7 (0 - 15)	15 (0 - 30)	5 (0 - 20)	4 (0 - 20)	50 (12 - 85)
准 教 授	臨床系	7	16 (0 - 45)	35 (0 - 96)	4 (0 - 20)	14 (0 - 60)	4 (0 - 8)	7 (0 - 35)	80 (17-112)
	基礎 応用	2	15 (10 - 30)	0 (0 - 0)	9 (2 - 30)	15 (10 - 15)	11 (5 - 15)	4 (0 - 10)	54 (35-105)
講 師	臨床系	5	14 (3 - 40)	20 (0 - 60)	2 (0 - 14)	14 (0 - 25)	1 (0 - 6)	1 (0 - 12)	52 (30 - 75)
	基礎 応用	5	20 (2 - 50)	0 (0 - 0)	9 (0 - 20)	23 (5 - 50)	5 (0 - 12)	2 (0 - 10)	59 (48 - 70)
助 手	臨床系	6	17 (0 - 30)	32 (5 - 60)	0 (0 - 0)	15 (0 - 30)	4 (0 - 20)	5 (0 - 10)	73 (50 - 91)
	基礎 応用	3	30 (15 - 48)	0 (0 - 0)	5 (0 - 18)	32 (21 - 48)	1 (0 - 5)	0 (0 - 0)	68 (60 - 80)

*客員教授(1名)を除く。

5. 動物病院の組織図



6. 動物病院の診察科名と教員数

診察科名	教員数
総合診療科	6
一般外科	6
整形外科	6
神経・運動器科	4
循環器科	4
呼吸器科	1
消化器科	3
腫瘍科	3
放射線科	3
歯科	2
腎泌尿器科	3
皮膚科	2
一般内科	5
眼科	1
血液科	2
産科繁殖科	2
産業動物科	3

7. 診察要員

教員数	27 (内 非常勤講師 5名)
有給獣医師	3 (臨時・派遣獣医師)
有給研修医	17
無給研修医	32
動物看護士	0
検査技師 (含薬剤師)	0
その他 (器具洗浄)	0
合計	79

8. 動物病院の支援人員

	事務系職員	技術系職員	動物看護士	研修獣医師		その他
				有給	無給	
現員数	5	0	0	17	32	3
一人あたりの 平均延支援時 間(h/週)	50			60	10	60

9. 動物病院の総面積 (廊下を含む) と診療収入

総面積	約 3,671.52m ²
診療収入	約 366,344,900 円

10. 現在の病院運営経費

消耗品費支出	14,040,000
光熱水費支出	33,300,000
通信運搬費支出	1,200,000
印刷製本費支出	490,000
旅費交通費支出	190,000
福利費支出	100,000
修繕費支出	5,800,000
業務委託費支出	35,800,000

損害保険料支出	60,000
賃借料支出	62,230,000
諸会費支出	20,000
手数料・報酬支出	2,830,000
会合費支出	120,000
付属事業材料等購入支出	140,000,000
雑費支出	1,250,000
計	297,430,000

11. 動物病院の組織改編の予定

平成 21 年度、22 年度に実施予定。

12. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

16 列マルチスライス CT（コンピューター断層撮影装置）

1.5 テスラ超伝導型 MRI（磁気共鳴断層撮影装置）

高電圧放射線治療装置

コンピューテッドラジオグラフィー

ビデオ内視鏡システム

超音波内視鏡システム

移動型 C アーム

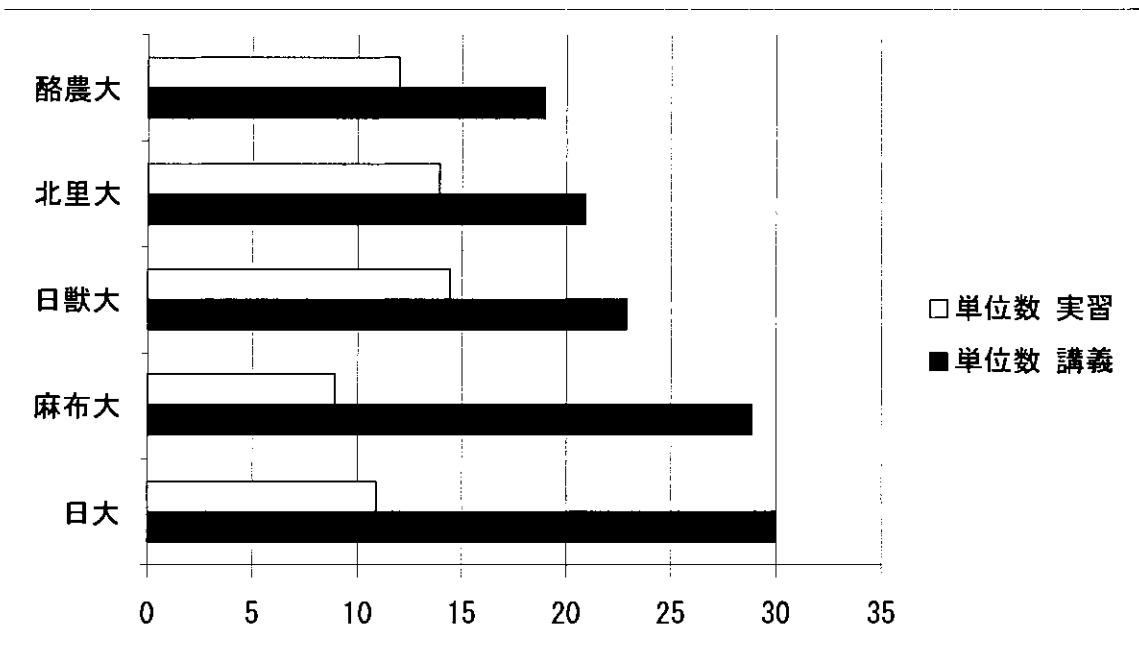
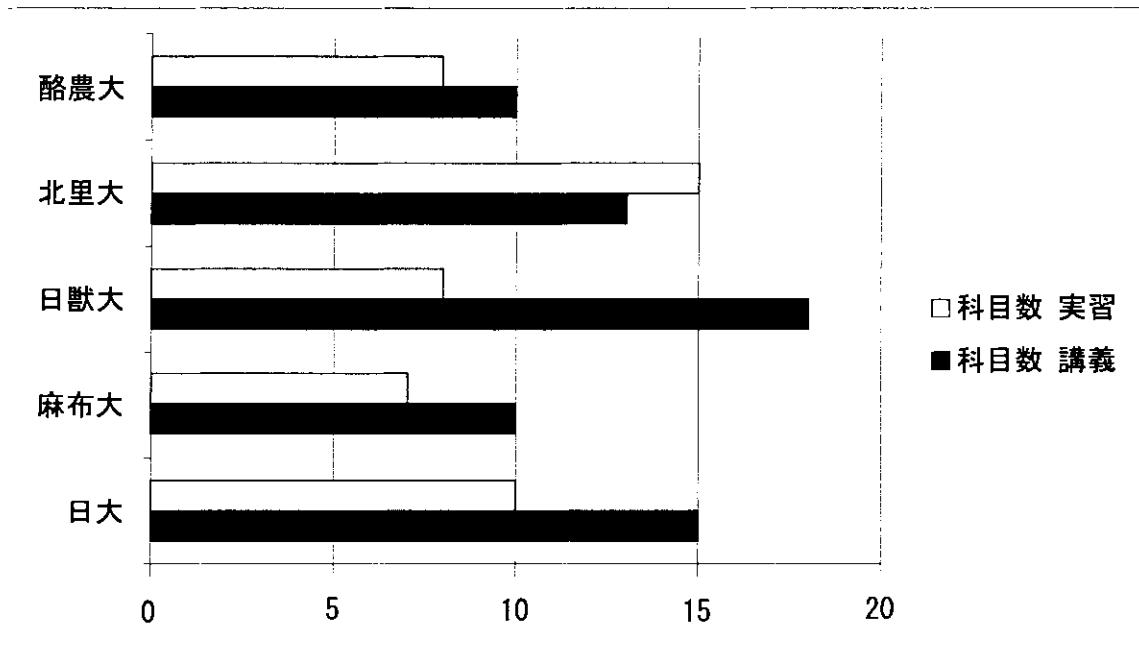
カラードプラ超音波診断装置

2) 今後の導入予定

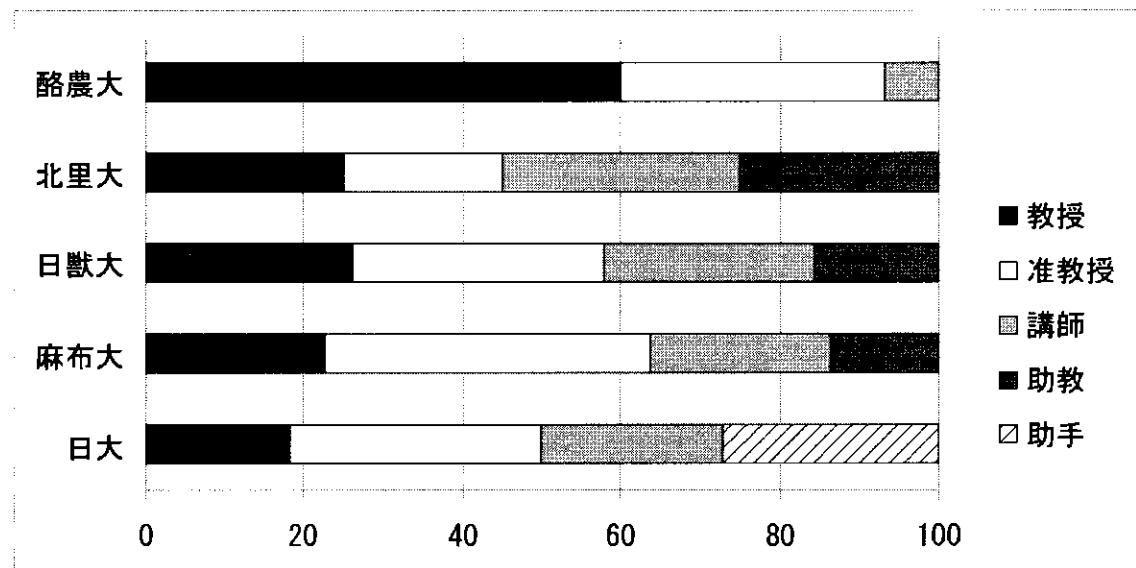
人工心肺装置

IV 大学別自己点検・評価の補助資料

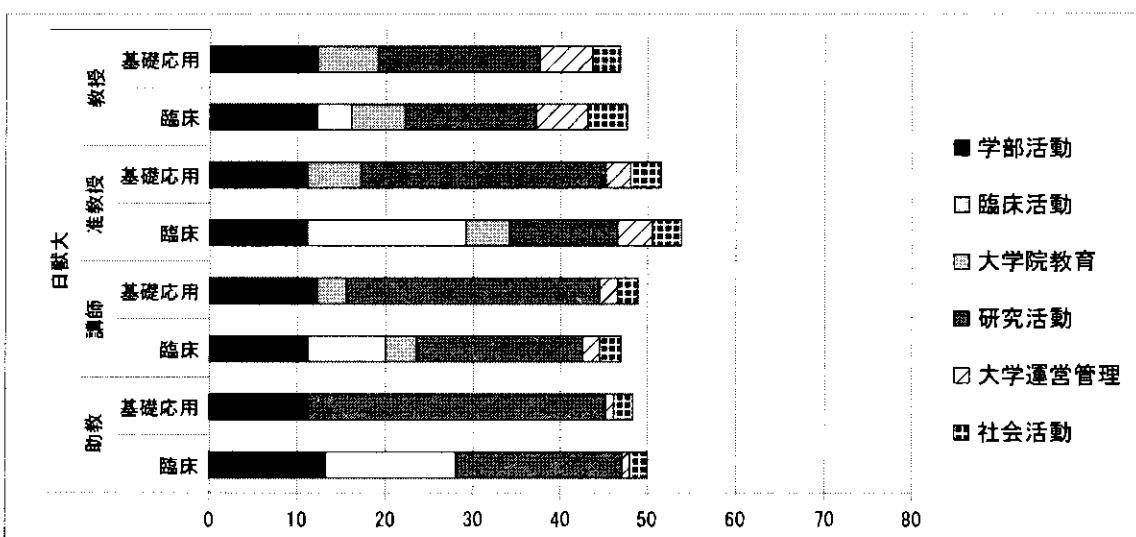
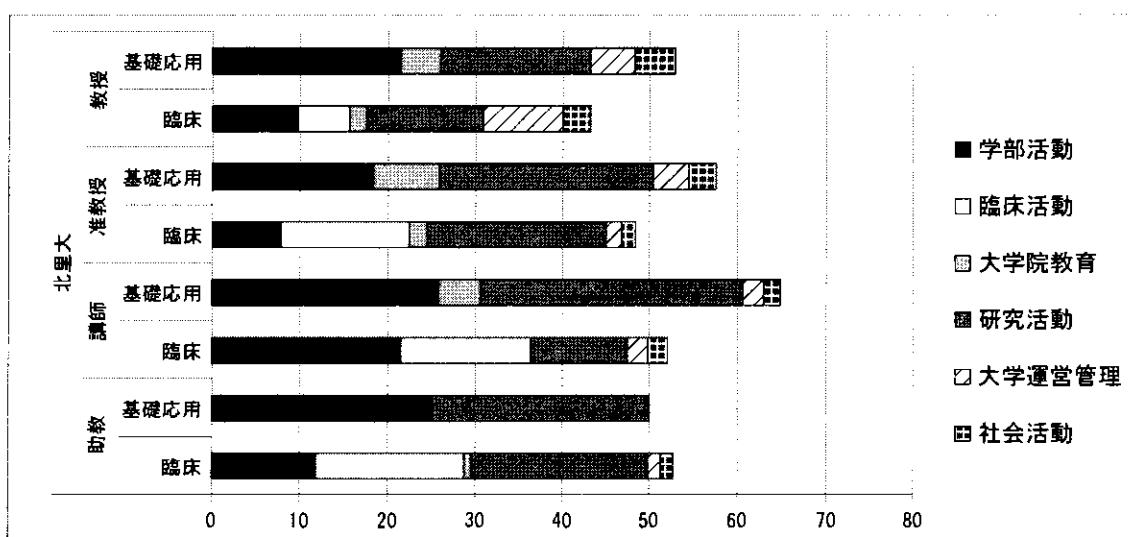
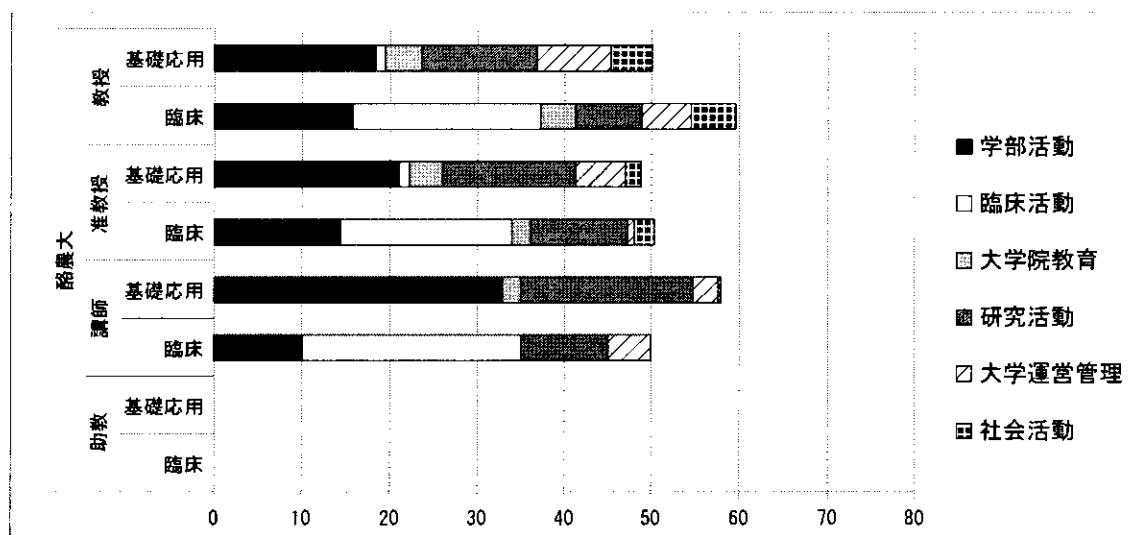
1. 臨床系教育科目・単位数(実習、講義ただし必修のみ)



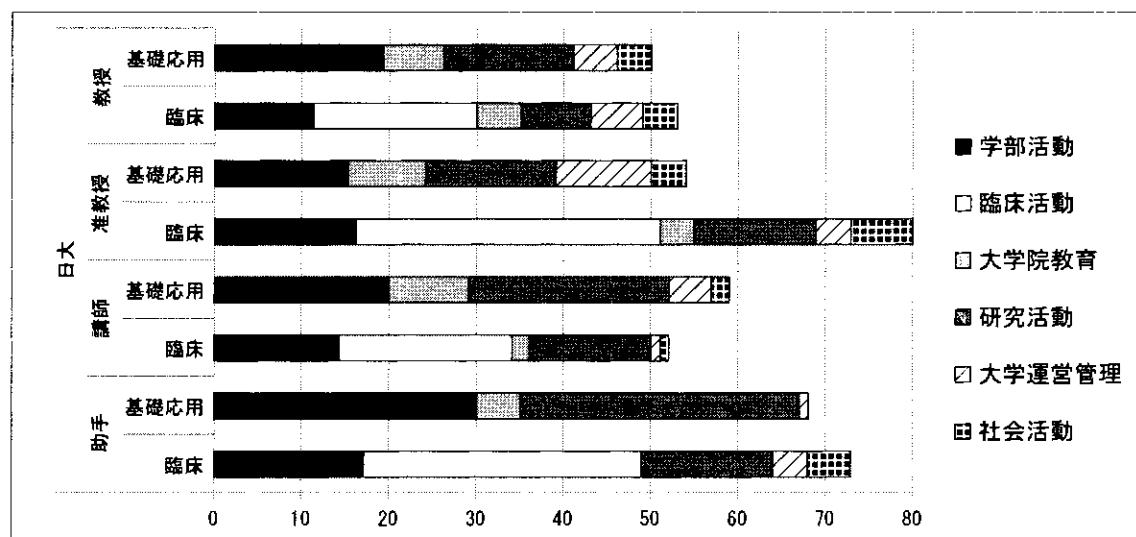
2. 臨床系担当教員の構成率（%変換 臨床系教員総数を 100%とした）



3. 大学教員の活動時間区分(平均のみ 横軸: 時間/週)



麻布大学については平均時間の記載がないため、割愛。

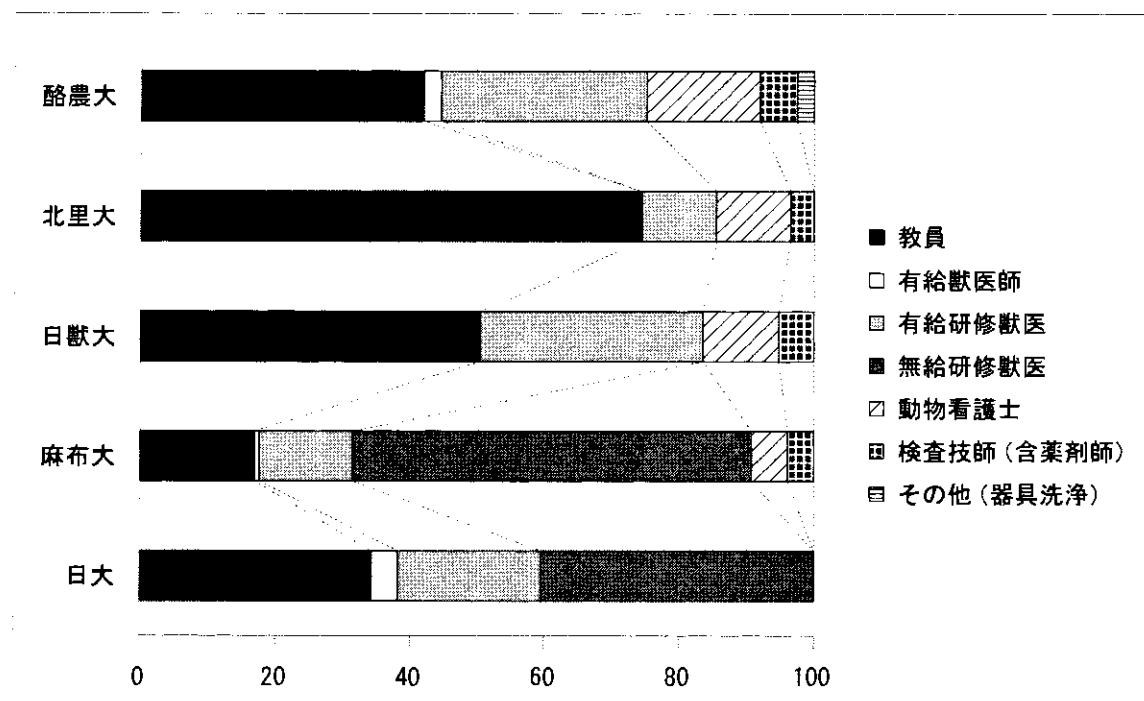


4. 診察要員

診察要員実数

	教員	有給 獣医師	研修獣医		動物 看護士	検査技 師(含薬 剤師)	その他 (器具洗 浄)	合計
			有給	無給				
酪農大	15	1	11	0	6	2	1	36
北里大	20	0	3	0	3	1	0	27
日獣大	27	0	18	0	6	3	0	54
麻布大	23	1	19	80	7	6	0	136
日大	27	3	17	32	0	0	0	79

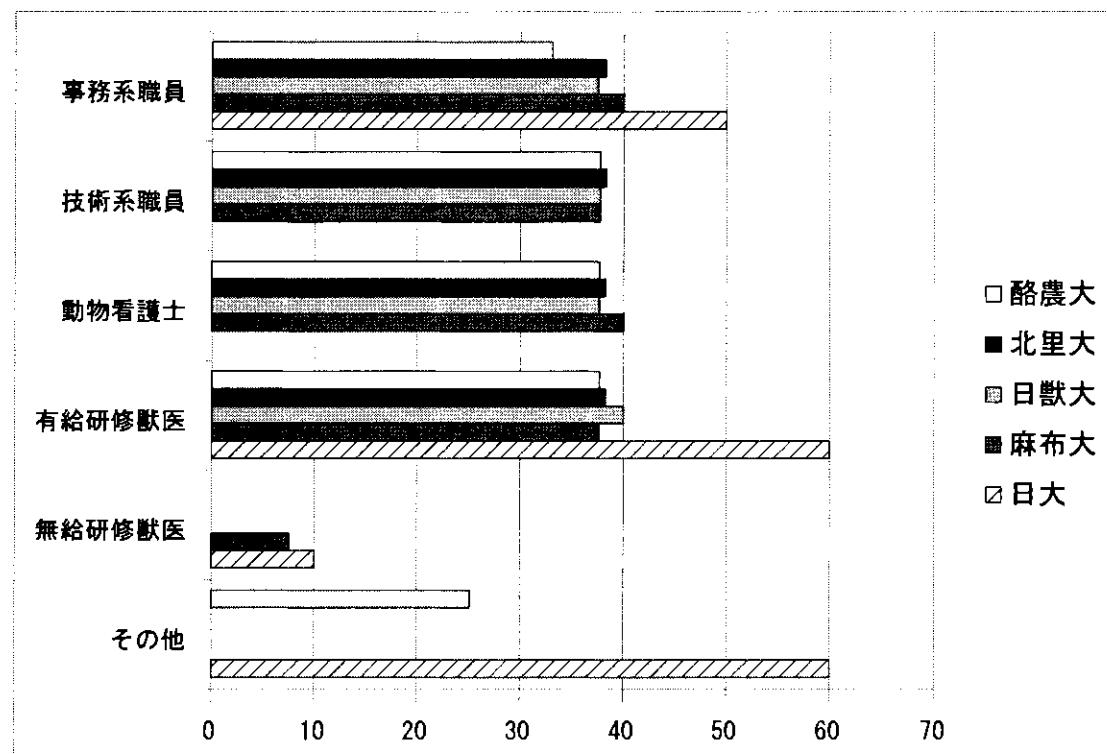
診察要員比率（診察要員総数を100%として%換算した 横軸：%）。



5. 動物病院の支援人員

	事務系職員	技術系職員	動物看護士	研修獣医		その他
				有給	無給	
酪農大	6	2	6	11	0	1
北里大	3	3	3	3	0	0
日獣大	4	3	6	18	0	0
麻布大	7	6	7	19	80	
日大	5	0	0	17	32	3

動物病院の支援人員一人当たりの平均延べ支援時間（横軸：時間/週）



6. 動物病院の総面積（廊下を含む）と診察収入(平成 20 年度)

	総面積(m ²)	診察収入
酪農大	約 8,700	約 216,000,000
北里大	2,449.25	77,419,948
日獣大	1,987.93	402,724,695
麻布大	2,206.3	359,306,328
日大	3,671.52	366,344,900

7. 現在の病院運営経費（平成 20 年度 単位 千円 ただし日獣大は 4-9 月のみ）

酪農大

	実数	(%換算)
人件費	77,570	31.5
消耗品費	90,000	36.5
光熱水費	9,780	4.0
旅費交通費	2,880	1.2
印刷製本費	1,700	0.7
通信運搬費	1,980	0.8
修繕費	2,100	0.9
公租公課費	220	0.1
賃借費	8,130	3.3
損害保険費	570	0.2
報酬謝礼費	3,920	1.6
諸会費	100	0.0
委託手数費	29,680	12.0
雑費	250	0.1
管理費	13,450	5.5
設備費	4,170	1.7
合計	246,500	100

北里大

人件費	8,698	13.8
教育研究経費	44,006	69.7
管理費		
施設関係支出		
設備関係支出	10,431	16.5
合計	63,135	100.0

日獣大

人件費	59,296	42.7
管理費	18,222	13.1
医療経費	47,322	34.1
教育研究用機器備品	13,996	10.1
合計	138,836	100.0

麻布大

人件費	89,461	26.8
教育研究経費	193,841	58.0
管理経費	15,053	4.5
設備関係支出	35,615	10.7
合計	333,970	100.0

日大

消耗品費支出	14,040	4.7
光熱水費支出	33,300	11.2
通信運搬費支出	1,200	0.4
印刷製本費支出	490	0.2
旅費交通費支出	190	0.1
福利費支出	100	0.0
修繕費支出	5,800	2.0
業務委託費支出	35,800	12.0
損害保険料支出	60	0.0
賃借料支出	62,230	20.9
諸会費支出	20	0.0
手数料・報酬支出	2,830	1.0
会合費支出	120	0.0
付属事業材料等購入支出	140,000	47.1
雑費支出	1,250	0.4
合計	297,430	100.0